

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	企画管理部	課	秘書広報課	係	秘書係
担当者		服部理恵子	直通	0771-25-5001	内線	2134

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	1	節	1	解決策	3	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	1
②事業名	平和推進事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

市民共通の願いである世界恒久平和に向けて、8月を「平和月間」と位置付け、市民参画による平和祈念式典、“ヒロシマ”に学ぶ親子平和の旅、平和のコスモス園事業等の各種取り組みを進めつつ、平和を希求するための諸事業を展開します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・各種平和推進事業に参加した人数（2,200人）	・各種平和推進事業に参加した人数（2,260人）	平和推進事業経費 1,056,500円
平成24年度	・各種平和推進事業に参加した人数（2,200人）	・各種平和推進事業に参加した人数（2,412人）	平和推進事業経費 1,073,760円
平成25年度	・各種平和推進事業に参加した人数（2,300人）	・各種平和推進事業に参加した人数（2,519人）	平和推進事業経費 979,300円
平成26年度	・各種平和推進事業に参加した人数（2,400人）	・各種平和推進事業に参加した人数（2,428人）	平和推進事業経費 1,121,370円
平成27年度	・各種平和推進事業に参加した人数（2,500人）	・各種平和推進事業に参加した人数（2,691人）	平和推進事業経費 1,666,710円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

各種平和事業に参加した人数を目標としており、平成23年度は平和事業に参加した人数が2,260人で、平成23年度達成率は103%（2,260人/2,200人）、平成24年度は参加人数2,412人、達成率110%（2,412人/2,200人）、平成25年度は参加人数2,519人、達成率110%（2,519人/2,300人）、平成26年度は参加人数2,428人、達成率101%（2,428人/2,400人）、平成27年度は参加人数2,691人、達成率107.6%（2,691人/2,500人）、目標年度に対する進捗率は106.1%（12,310人/11,600人）です。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

8月の「平和月間」を中心に、「平和祈念式典」、「”ヒロシマ”に学ぶ親子平和の旅」など各種平和事業に取り組み、多くの市民に参加をいただきました。
また、平成27年は、市制60周年、戦後70年の節目の年であったため平和事業の充実を図り、より多くの市民に参加をいただく中で、平和の尊さについて、改めて考える機会となったと考えます。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

より多くの市民に参加いただくために、世界連邦・非核平和都市宣言啓発推進事業と合わせて、事業展開をしていく必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

より多くの市民に参加いただけるよう、市民参画による各種平和事業を展開していきます。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	社会教育課	係	社会教育係
担当者		八木 京子	直通	25-5054	内線	3752

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	1	節	1	解決策	2	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	2
②事業名	人権教育事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

誰もが互いを尊重し、認め合いながら、いつまでも幸せに住み続けられる人権と平和が根づくまちづくりをすすめるため、人権教育講座等の学習機会を市民に提供します。
また、市民等の人権意識の普及高揚を図るため、地域や企業、各種団体などが自主的な人権教育啓発活動を行う場合に、人権教育啓発指導員の派遣及び情報提供を行います。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	人権教育講座等への参加者の拡大 H21 3,000人→H27 3,300人	3,518人	事業費 4,586,830円 府補助金 1,890,000円
平成24年度	人権教育講座等への参加者の拡大 H21 3,000人→H27 3,300人	3,071人	事業費 4,403,148円 府補助金 1,797,000円
平成25年度	人権教育講座等への参加者の拡大 H21 3,000人→H27 3,300人	2,971人	事業費 3,941,488円 府補助金 1,566,000円
平成26年度	人権教育講座等への参加者の拡大 H21 1,600人→H27 1,900人 (※人権啓発課へ各センター事業移行のため、目標値変更 △1,400人)	1,967人	事業費 3,567,702円 府補助金 1,379,000円
平成27年度	人権教育講座等への参加者の拡大 H21 1,600人→H27 1,900人	2,752人	事業費 3,921,518円 府補助金 1,593,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

(その根拠)

分母を年間目標値の3,300人×3カ年+1,900人×2カ年=13,700人とし、分子を平成27年度までの実績値の合計14,279人として算出した結果、104.2%となりました。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

目標年度までの目標参加者数については、目標に対して実績が100%に到達することができました。また、個人権課題に関する取組として、女性・子ども・同和問題・平和・いのちなどの人権課題に関する講座を開催し、今日的な人権問題に関わり、市民に学習機会を提供することができました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

人権に関わる様々な課題が依然として残っており、ヘイトスピーチやインターネットによる人権侵害等新たな人権問題も発生してきています。人権問題に対する理解を深め、人権尊重意識の高揚を図るためには、人権教育を継続的に推進すると同時に、次世代の指導者を育てる施策も必要だと考えます。

また、学習機会の提供においては生涯学習の視点に立って、幼児から高齢者に至るそれぞれのライフスタイルにおける人権課題に対応した、多様な人権学習活動の展開が必要であると考えます。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降については、引き続き事業を展開することとし、今後も様々な人権課題課題解決に向けた、多様な分野の人権学習を展開していくこととします。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	生涯学習部	課	人権啓発課	係	男女共同参画推進係
担当者		森本裕子	直通	25-5075	内線	2234

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	1	節	2	解決策	2	具体的施策	1	枝番号	2
	「目指す目標」に該当する事業								番号	3
②事業名	審議会への女性の登用推進事業、KYISS・女性人材登録事業（企業・団体における女性の参画拡大）									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

「亀岡市男女共同参画条例」に基づき、社会のあらゆる分野における政策・方針決定の場への女性の参画を促進するため、女性人材登録者を増やし、審議会、委員会への女性の積極的な登用を図ります。関係課において審議会等への委員推薦依頼の際に、企業や団体等における女性の参画拡大について女性委員の就任依頼を促すことで依頼先に対しても意識を持っていただくことにしています。地域活動における男女共同参画を促進するため、市・自治委員会議で、自治会役員への女性の登用の必要性について説明を行っています。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	審議会等の女性の登用率の向上。女性人材登録促進、亀岡ゆう・あいサポートシステム登録団体数の増加及び人材育成や団体事業の広報をサポート。	・ 審議会等の女性登録率33.7% ・ 自治委員会議で、女性の役員登用について協力依頼 1回	—
平成24年度	審議会等の女性の登用率35%。女性人材登録促進、亀岡ゆう・あいサポートシステム登録団体数の増加及び人材育成や団体事業の広報をサポート。	・ 審議会等の女性登録率33.1% ・ 自治委員会議で、女性の役員登用について協力依頼 1回	—
平成25年度	審議会等の女性の登用率40%。女性人材登録促進、亀岡ゆう・あいサポートシステム登録団体数の増加及び人材育成や団体事業の広報をサポート。	・ 審議会等の女性登録率34.1% ・ 自治委員会議で、女性の役員登用について協力依頼 1回	—
平成26年度	審議会等の女性の登用率の45%。女性人材登録促進、亀岡ゆう・あいサポートシステム登録団体数の増加及び人材育成や団体事業の広報をサポート。	・ 審議会等の女性登録率32.3% ・ 自治委員会議で、女性の役員登用について協力依頼 1回	—
平成27年度	審議会等の女性の登用率50%。女性人材登録促進、亀岡ゆう・あいサポートシステム登録団体数の増加及び人材育成や団体事業の広報をサポート。	・ 審議会等の女性登録率31.4% ・ 自治委員会議で、女性の役員登用について協力依頼 1回	—

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

女性の登用率については、平成27年度の数値目標を50%に設定しています。平成27年度の登用率は31.4%であり、単年度の進捗率は約63%とします。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

審議会等の委員を選任する際、主管課から人権啓発課へ審議会等への女性の登用に係る事前協議書の提出を義務づけていることから、全庁的にも女性の登用について意識づけがなされているところですが、女性の登用率の目標50%については5年間30%台で推移し、達成することができませんでした。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

女性人材登録システム登録者数は5年間でほぼ横ばいであり、今後も多様な人材の確保が必要です。また、主管課が団体に委員の推薦依頼をした場合、役職指定をしていないにも関わらず、過去からの慣習として同じ役職の方を推薦される場合が多く、役職に関わらない推薦についてさらに理解を求める必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

今後も女性人材登録システムの登録者を増やして多様な人材を集めるとともに、団体等から委員を選出する際は主管課から女性委員の推薦を依頼し、審議会等への女性の登用率50%を目指します。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	総務部	課	自治防災課	係	自治振興係
担当者		相原 稔	直通	25-6788	内線	2333

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	1	節	3	解決策	1	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	4
②事業名	自治会活動への参加促進事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

<p>住民ニーズにあったコミュニティ活動を推進するため、自治会役員会での協議をするとともに、市民の自治会加入を促進していきます。</p>
--

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	自治会加入世帯数の増加	<ul style="list-style-type: none"> 自治会連合会役員会を開催するとともに転入者への案内や開発業者への指導をした。 加入世帯数 28,169世帯 	0円
平成24年度	自治会加入世帯数の増加	<ul style="list-style-type: none"> 自治会連合会役員会を開催するとともに転入者への案内や開発業者への指導をした。 加入世帯数 28,271世帯 	0円
平成25年度	自治会加入世帯数の増加	<ul style="list-style-type: none"> 亀岡市自治会加入促進活動助成金を創設し、自治会等加入促進ハンドブックの作成・配布事業に助成した。（2件） 加入世帯数 28,329世帯 	163,000円
平成26年度	自治会加入世帯数の増加	<ul style="list-style-type: none"> 自治会連合会役員会を開催するとともに転入者への案内や開発業者への指導をした。 加入世帯数 28,473世帯 	0円
平成27年度	自治会加入世帯数の増加 (H21 28,252世帯→H27 増加)	<ul style="list-style-type: none"> 自治会連合会役員会を開催するとともに転入者への案内や開発業者への指導をした。 加入世帯数 28,464世帯 	0円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

<p>自治会加入世帯数については、近年低下傾向となっておりますが、地域コミュニティ活動や安全・安心なまちづくりの基盤となる地域力の推進を図るため、平成27年度には、自治会加入世帯数を平成21年度の28,252世帯から増加させることを目標としています。平成25年度については、自治会等が自ら自治会未加入者へ参加を働きかける気運の醸成とその取り組みを支援するため、亀岡市自治会加入促進活動助成金を創設し、自治会連合会及び篠町自治会における自治会等加入促進パンフレット作成・配布事業に対して助成しました。</p>

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

自治会連合会役員会を開催するとともに転入者への案内、開発業者への指導や亀岡市自治会加入促進活動助成金の創設により、自治会未加入者への加入促進と自治会等の自治会加入の取り組みを支援することができた。

○自治会加入世帯数

平成21年度 28,252世帯→平成27年度 28,464世帯(212世帯増)

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

平成25年度に亀岡市自治会加入促進活動助成金を創設し、自治会等加入促進パンフレット作成・配布事業に対して助成しましたが、助成団体が少なく、自治会等が自ら自治会未加入者へ参加を働きかける意識の高揚を図る必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

住民ニーズにあったコミュニティ活動を推進するために、その中心となる自治会等が活発な活動を継続していくには自治会等に参加する世帯を維持する必要があり、平成28年度以降についても自治会役員会での協議をするとともに、市民の自治会加入を促進していきます。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	生涯学習部	課	市民力推進課	係	市民活動推進係
担当者		明田 周人	直通	25-5002	内線	2212

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	1	節	4	解決策	2	具体的施策	6	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	5
②事業名	企画提案型協働事業の実施									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

<p>市民や団体から、行政との協働で取り組みたい事業を募集し、効果的な事業を審査し、実行します。</p>
--

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	企画提案型協働事業の検討	龍谷大学との連携による事業の検討	0円
平成24年度	企画提案型協働事業の検討、実施	企画提案型協働事業の検討 市民提案事業の実施	(事業補助金他) 1,173,590円
平成25年度	行政提案事業の制度検討、試 行実施（交付1件） 市民提案事業の実施 （交付1件）	市民提案事業の実施（1件） 行政連携事業の試行実施 （1件）	(事業補助金他) 1,174,672円
平成26年度	行政提案事業の実施 （交付1件） 市民提案事業の実施 （交付1件）	市民連携事業の実施 （交付1件） 行政連携事業の実施 （交付1件）	(事業補助金他) 1,803,900円
平成27年度	市民連携事業の実施 （交付1件） 行政連携事業の実施 （交付1件）	市民連携事業の実施 （交付2件） 行政連携事業の実施 （交付1件）	(事業補助金他) 969,669円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

<p>平成25年度までに、企画提案型協働事業の制度を整え、制度を運用していることから100%の達成率とします。</p>

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

企画提案型事業の制度を設け、実際に運用することができました。また、各年度、目標としていた事業実施件数を達成することができ、地域の課題解決に効果的な事業が実施できました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

企画提案型事業の実施については、亀岡市支えあいまちづくり協働支援金制度を通じて実施してきましたが、支援金制度では概ね3年間の支援しか行えないため、その後の市民活動団体の自立を支援する制度が不十分な状況があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

上記の課題からも、第2次亀岡市まちづくり協働推進実施計画に掲げられた基金制度の創設を実現し、支援金制度活用以降の市民活動団体の活動と自立を支援する仕組みを立ち上げます。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	総務部	課	自治防災課	係	セーフコミュニティ係
担当者		松永 恵理子	直通	25-5097	内線	2336

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	2	節	1	解決策	3	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	6
②事業名	サーベイランス調査事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

亀岡市内で発生する外傷関連データを定期的に把握し減少につなげるため、サーベイランス調査・分析を実施します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・救急搬送件数（外傷分）の減少 H23 1,000件 ・亀岡市内で発生する外傷関連データの定期的な把握と調査・分析 （警察・消防・保健所データの収集・分析、公立保育所の外傷サーベイランス調査、スポーツ少年団外傷サーベイランス調査の実施）	・救急搬送件数 H23 1,020件 ・セーフコミュニティアンケート調査を実施 ・警察・消防・保健所データの収集・分析 ・公立保育所の外傷サーベイランス調査 ・スポーツ少年団外傷サーベイランス調査実施	1,648,956円
平成24年度	・救急搬送件数（外傷分）の減少 H24 950件 ・亀岡市内で発生する外傷関連データの定期的な把握と調査・分析 （警察・消防・保健所データの収集・分析、公立保育所の外傷サーベイランス調査、スポーツ少年団外傷サーベイランス調査の実施）	・救急搬送件数 H24 976件 ・警察・消防・保健所データの収集・分析 ・公立保育所の外傷サーベイランス調査	798,000円
平成25年度	・救急搬送件数（外傷分）の減少 H25 920件 ・亀岡市内で発生する外傷関連データの定期的な把握と適時データを補足する （警察・消防・保健所データの収集・分析、公立保育所の外傷サーベイランス調査、スポーツ少年団外傷サーベイランス調査の実施）	・救急搬送件数 H25 1,009件 ・警察・消防・保健所データの収集・分析 ・公立保育所の外傷サーベイランス調査	699,300円
平成26年度	・救急搬送件数（外傷分）の減少 H26 890件 ・亀岡市内で発生する外傷関連データの定期的な把握と適時データを補足する （警察・消防・保健所データの収集・分析、公立保育所の外傷サーベイランス調査、スポーツ少年団外傷サーベイランス調査の実施）	・救急搬送件数 H26 989件 ・警察・消防・保健所データの収集・分析 ・公立保育所の外傷サーベイランス調査	594,000円
平成27年度	・救急搬送件数（外傷分）の減少 H27 860件 ・亀岡市内で発生する外傷関連データの定期的な把握と適時データを補足する （警察・消防・保健所データの収集・分析、公立保育所の外傷サーベイランス調査、スポーツ少年団外傷サーベイランス調査の実施）	・救急搬送件数 H27 986件 ・警察・消防・保健所データの収集・分析 ・公立保育所の外傷サーベイランス調査	486,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

亀岡市の外傷サーベイランスを構成する中心的数据として「行政の統計データ」「救急搬送データ」「医療機関データ」等を経年的に把握・分析する仕組みを構築し、運営している。重要なデータの収集及び分析を毎年度継続して行い、5年目の事業が概ね目標通り進行したため100%の達成率とする。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

亀岡市内で発生する外傷関連データの定期的な把握・分析や、具体的指標の設定及び指標に係るプログラムを検討、提案するという、セーフコミュニティ活動の基本となる取組を推進してきた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

亀岡市の外傷サーベイランスを構成する中心的なデータである「行政の統計データ」「救急搬送データ」「医療機関データ」については定期的に把握できているが、市民の体感治安や現状抱えている課題などを把握するアンケート調査は平成19年以降実施できていない。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

今後もサーベイランスに必要なデータ取得・分析を継続するとともに、医師などの専門家を中心に構成する「亀岡市サーベイランス委員会」において、「亀岡市セーフコミュニティアンケート調査」を行い、市民の体感治安やセーフコミュニティ活動への認知度等を把握する。その結果を亀岡市セーフコミュニティ推進協議会や対策委員会にフィードバックし、さらなるセーフコミュニティ活動の推進を目指す。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	総務部	課	自治防災課	係	防災・危機管理係
担当者		藤本 祥之	直通	25-6788	内線	2334

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	2	節	2	解決策	1	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	7
②事業名	各種ハザードマップの作成									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

亀岡市内で土砂崩れや洪水、地震による被害が起こる可能性がある区域を前もって把握し、災害が起こった時の被害を減らすことができるように「亀岡市洪水ハザードマップ」と「亀岡市地震ハザードマップ」を作成する。また、各町の自主防災会などが中心となって作成される「地域版ハザードマップ」の作成費用について助成金を交付して、作成を推進する。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	地域版ハザードマップ作成件数（3件、累計件数：10件）	地域版ハザードマップ作成件数（1件、累計件数：8件）	50,000円
平成24年度	地域版ハザードマップ作成件数（2件、累計件数：12件）	地域版ハザードマップ作成件数（1件、累計件数：9件）	50,000円
平成25年度	地域版ハザードマップ作成件数（2件、累計件数：14件）	地域版ハザードマップ作成件数（0件、累計件数：9件）	0円
平成26年度	地域版ハザードマップ作成件数（2件、累計件数：16件）	地域版ハザードマップ作成件数（0件、累計件数：9件）	0円
平成27年度	地域版ハザードマップ作成件数（2件、累計件数：18件）	地域版ハザードマップ作成件数（0件、累計件数：9件）	0円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

平成27年度までの、地域版ハザードマップの作成対象の23町に対して9町が作成済みのため、達成率40%としました。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

「亀岡市洪水ハザードマップ」と「亀岡市地震ハザードマップ」を作成することにより亀岡市内で土砂崩れや洪水、地震による被害が起こる可能性がある区域を前もって広く市民に周知することができた。また、各町の自主防災会などが中心となって作成される「地域版ハザードマップ」の作成費用を助成し、作成を推進することができた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

平成27年に水防法の改正により、浸水想定区域の見直しがなされるため、ハザードマップの見直しの必要がある。
また、地域版ハザードマップの作成については、半分以上の町が未作成である。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

亀岡市内で土砂崩れや洪水、地震による被害が起こる可能性がある区域を前もって広く周知し、災害が起こった時に被害を減らすことができるよう平成28年度以降についても引き続き、作成を促進していきます。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	総務部	課	自治防災課	係	自治振興係
担当者		熊澤 亮子	直通	25-6788	内線	2333

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	2	節	3	解決策	1	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	8
②事業名	交通安全運動の推進									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

<p>交通事故のない安全安心のまちづくりを目指すため、各種団体、関係機関の参画による亀岡市交通安全対策協議会を設置し、市民ぐるみで交通安全運動を実施しています。特に、年4回の交通安全運動期間には、街頭啓発活動を毎回2回実施し、信号待ちのドライバーや駅を利用する通勤・通学者に対して啓発チラシや啓発物品を配布して交通安全意識の普及及び高揚に努めています。また、春の運動期間には、交通安全の推進等にご尽力をいただいた方を功労者として表彰しています。</p>
--

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	交通安全街頭啓発活動の実施 交通安全功労者表彰の実施 交通事故死傷者数の減少 平成23年 650人	交通安全街頭啓発活動 14回 交通安全功労者表彰 5個人 1団体 交通事故死傷者数 663人	316,000円
平成24年度	交通安全街頭啓発活動の実施 交通安全功労者表彰の実施 交通事故死傷者数の減少 平成24年 610人	交通安全街頭啓発活動 17回 交通安全功労者表彰 10個人 2団体 交通事故死傷者数 621人	326,000円
平成25年度	交通安全街頭啓発活動の実施 交通安全功労者表彰の実施 交通事故死傷者数の減少 平成25年 570人	交通安全街頭啓発活動 14回 交通安全功労者表彰 7個人 1団体 交通事故死傷者数 579人	340,000円
平成26年度	交通安全街頭啓発活動の実施 交通安全功労者表彰の実施 交通事故死傷者数の減少 平成26年 530人	交通安全街頭啓発活動 11回 交通安全功労者表彰 3個人 2団体 交通事故死傷者数 421人	332,251円
平成27年度	交通安全街頭啓発活動の実施 交通安全功労者表彰の実施 交通事故死傷者数の減少 平成27年 490人	交通安全街頭啓発活動 13回 交通安全功労者表彰 2個人 1団体 交通事故死傷者数 369人	1,519,684円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

<p>年4回の交通安全運動期間の啓発活動や市内の高校生を対象とした自転車安全利用指導において交通安全を呼びかけました。また、27年度には、運転に不安のある高齢者に対し、運転免許証の自主返納を促し、自主返納した高齢者を支援する取り組みを開始しました。進捗状況については、交通事故死傷者数が着実に減少しており、平成27年度まで継続事業のうち27年度分が終了したことから、100%の達成率とします。</p>
--

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

年4回の交通安全運動期間の啓発活動や市内の高校生を対象とした自転車安全利用指導において交通安全を呼びかけました。また、交通事故全体に占める高齢者事故の割合が高いことから、運転に不安のある高齢者に対し、運転免許証の自主返納を促し、自主返納した高齢者を支援することで、未然に交通事故を防止する取り組みを開始しました。交通事故死傷者数については、着実に減少しています。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

- 交通事故死者数の更なる減少に取り組む。
- 高齢者の交通事故の減少に取り組む。
- 自転車のマナーの向上に取り組む。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降についても、引き続き事業を展開することとし、交通事故のない安全安心のまちづくりの推進に取り組めます。啓発活動等の実施により、市民の方の交通安全への関心を高めるとともに、交通事故の減少に向けて、さらに取組を強化していくこととします。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	総務部	課	自治防災課	係	自治振興係
担当者		上西 隼太	直通	25-6788	内線	2332

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	2	節	3	解決策	2	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	9
②事業名	防犯・暴迫啓発活動									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

安全で安心して暮らせるまちづくりのため、防犯対策をセーフコミュニティの重点課題と位置づけ、セーフコミュニティ防犯対策委員会で対策を進めると同時に、現在活動されている防犯団体を核としてその活動を支援しています。

支援内容は、補助金の交付及び京都府と連携し情報提供を行っています。

さらに、街頭犯罪認知件数が減少傾向にある中でも、青少年が関わる自転車盗被害が急激に増加していることから、防犯パトロールなどの人的対策の補完措置として、犯罪の未然防止に有効な防犯カメラを設置します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> 防犯団体活動支援 街頭犯罪認知件数の減少 (H22年度実績530件を基準とする) 	<ul style="list-style-type: none"> 防犯団体支援 防犯カメラ設置検討 街頭犯罪認知件数528件（△2件） 	396,185円
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> 防犯団体活動支援 防犯カメラ取扱要綱制定 防犯カメラ5台設置 街頭犯罪認知件数510件 	<ul style="list-style-type: none"> 防犯団体活動支援 防犯カメラ取扱要綱制定 防犯カメラ5台設置 街頭犯罪認知件数390件（△140件） 	2,652,410円
平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> 防犯団体活動支援 防犯カメラ1台設置 街頭犯罪認知件数380件 	<ul style="list-style-type: none"> 防犯団体活動支援 防犯カメラ1台設置 街頭犯罪認知件数432件（△98件） 	1,073,000円
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> 防犯団体活動支援 防犯カメラ2台設置 街頭犯罪認知件数375件 	<ul style="list-style-type: none"> 防犯団体活動支援 防犯カメラ2台設置 街頭犯罪認知件数307件 (△223件) 	1,455,500円
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> 防犯団体活動支援 街頭犯罪認知件数370件 	<ul style="list-style-type: none"> 防犯団体活動支援 市防犯カメラ2台、自治会によるカメラ設置14台 (うち、補助対象5台) 街頭犯罪認知件数253件 (△277件) 	1,661,291円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

(その根拠)

平成26年度は、セーフコミュニティ防犯対策委員会を中心に新たに防犯カメラの設置をするなど体感治安の向上に向けた取組を行いました。

目標に対する進捗状況については、平成27年度までに街頭犯罪認知件数を3割減らすことを目指すとした当初目標を達成したことから100%とします。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

街頭犯罪認知件数は着実に減少しており、当初目標の平成22年度比（530件）3割減の目標（→370件）を達成し一定の事業の成果があったといえます。その要因としては、防犯カメラの設置について、市設置の他、自治会が設置する防犯カメラの補助事業を創設したことで設置基数の増加を図ることができたこと、さらには関係機関と連携した啓発活動の実施や協定の締結などが挙げられます。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

平成27年度には京都縦貫自動車道の全線開通するなど「犯罪の広域化」への対応が必要となると考えられます。具体的には、防犯カメラの設置箇所の検討（JR駅前→京都縦貫道IC付近など）や防犯対策に関わる関係機関や市民等のさらなる意識向上に向けた取り組みを進めていく必要があると考えています。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降についても防犯団体の活動を支援しながら、亀岡警察署との連携を強化し防犯関係機関のネットワークの拡大や地元自治会等との協調のもと防犯カメラの増設を進め、街頭犯罪認知件数の減少をていくこととします。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	環境市民部	課	消費生活センター	係	
担当者		前田 恵子	直通	0771-25-5005	内線	2552

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	2	節	4	解決策	2	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	10
②事業名	消費生活相談事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

悪質商法や特殊詐欺の相談、製品に係る相談、事業者との交渉・斡旋・苦情処理の対応や指導など相談業務の充実を図るため、平成23年3月に「亀岡市消費生活センター」を設置し、消費生活専門相談員による苦情・相談処理や事業者との斡旋等消費生活相談を実施しています。消費者庁をはじめとする国の機関や京都府と連携し、相談業務の充実に努めています。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	消費生活相談の開催回数 ・・・週3回以上	消費生活相談の開催回数 …週5回 (相談件数・・・211件)	消費生活専門相談員報酬及び謝金 2,494,000円
平成24年度	消費生活相談の開催回数 ・・・週4回以上	消費生活相談の開催回数 …週5回 (相談件数・・・203件)	消費生活専門相談員報酬及び謝金 2,672,000円
平成25年度	消費生活相談の開催回数 ・・・週4回以上	消費生活相談の開催回数 …週5回 (相談件数・・・228件)	消費生活専門相談員報酬及び謝金 2,641,000円
平成26年度	消費生活相談の開催回数 ・・・週4回以上	消費生活相談の開催回数 …週5回 (相談件数・・・265件)	消費生活専門相談員報酬及び謝金 2,484,000円 (内府補助金 1,908,000)
平成27年度	消費生活相談の開催回数 ・・・週4回以上	消費生活相談の開催回数 …週5回 (相談件数・・・226件)	消費生活専門相談員報酬及び謝金 2,505,600円 (内府補助金 1,929,600円)

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

(その根拠)

消費生活相談を開催していく事業であるため、年度ごとに目標回数以上実施した場合には、計画期間中（平成23年度～27年度）に1年が経過するごとに20%とし、進捗度100%とします。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

目標年度までの目標開催回数については、目標に対して実績が100%となり、当初目的に掲げていた開催回数を増やすことができました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

相談回数については、回数を増やすことができましたが、相談窓口のPR方法を工夫する必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降については、引き続き事業を展開することとし、悪質商法や特殊詐欺に係る相談を行うとともに相談業務の充実を図るため、消費生活センター窓口のPR活動を強化していくこととします。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	健康増進課	係	健康診査係
担当者		松村 亜矢子	直通	25-5004	内線	8213

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	1	解決策	2	具体的施策	4	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	11
②事業名	がん検診（胃・大腸・肺・子宮・乳がん）									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

<p>がんの知識の普及により、がんを予防する生活習慣づくりとがん検診受診を啓発するとともに、新規検診受診者や定期的に検診を受ける人を増やし、受診率を上げる中、がんの早期発見・早期治療を促します。</p>

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	がんの啓蒙・啓発 がん検診の実施 未受診者受診勧奨 (受診率：50%)	がん検診受診率12.4% 胃がん1,766人、大腸がん 3,210人、肺がん2,768人、子 宮がん4,172人、乳がん2,129 人	65,926,404
平成24年度	がんの啓蒙・啓発 がん検診の実施 未受診者受診勧奨 (受診率：50%)	がん検診受診率14.5% 胃がん1,848人、大腸がん 3,432人、肺がん2,872人、子 宮がん4,424人、乳がん2,120 人	66,371,779
平成25年度	がんの啓蒙・啓発 がん検診の実施 未受診者受診勧奨 (受診率：50%)	がん検診受診率14.7% 胃がん2,018人、大腸がん 3,858人、肺がん3,082人、子 宮がん4,058人、乳がん2,090 人	73,286,000
平成26年度	がんの啓蒙・啓発 がん検診の実施 未受診者受診勧奨 (受診率：50%)	がん検診受診率14.3% 胃がん1,926人、大腸がん 3,672人、肺がん3,035人、子 宮がん4,153人、乳がん2,222 人	77,896,434
平成27年度	がんの啓蒙・啓発 がん検診の実施 未受診者受診勧奨 (受診率：50%)	がん検診受診率14.3% 胃がん2,159人、大腸がん 4,134人、肺がん3,269人、子 宮がん3,642人、乳がん1,949 人	65,467,914

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

(その根拠)

<p>がん検診については、京都府がん対策推進計画の目標受診率が50%となっている。 国においては、5年以内に胃・肺・大腸がんについては、当面40%を目指すとなっているが、 亀岡市では、前期夢ビジョンの目標を検診受診率50%としており、平成27年度平均受診率 14.3%/目標受診率50%≒30%の進捗状況と算出した。</p>

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

がん検診目標受診率50%に対して実績は12～14%代で、進捗状況は低い結果となりましたが、無料クーポン券の配布や、啓発活動等により受診者数は年々増加しており、新規がん検診受診者数も増加しています。また、がんを予防する生活習慣づくり等の一次予防にも積極的に取り組みました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

がん検診未受診者、特に無関心な人に向けた啓発の内容や方法を工夫し、新規検診受診者を増やす必要があります。また、定期的に検診を受診している人が継続して受診したり、市民全体が、がんやがん検診に関心をもつように、幅広い年齢層へのアプローチが必要です。

しかし、胃がん検診については、検診による副作用があることも考慮し、安全面を重視して対象者を限定せざるを得ない場合もあります。

- がんやがん検診への関心の向上
- 新規受診者や定期的に検診を受ける人の拡大
- PR活動の取組

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

がんの早期発見・早期治療を促すために、引き続きがん検診を実施することとし、受診率向上のために女性限定日やセット検診日を設けます。また、がんを予防する生活習慣づくりの普及のため、PR活動を強化していきます。

なお、平成28年度以降は、「がん対策推進基本計画」（平成24年6月8日閣議決定）に基づき、がん検診受診率の算定対象年齢を40歳から69歳まで（子宮頸がん検診対象は20歳から69歳まで）と限定することとします。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	環境市民部	課	保険医療課	係	国保給付係
担当者		藤谷	直通	0771-25-5025	内線	2573

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	1	解決策	具体的施策	枝番号
	「目指す目標」に該当する事業						番号
②事業名	亀岡市国民健康保険特定健康診査						
③継続・新規	平成27年度実施事業						

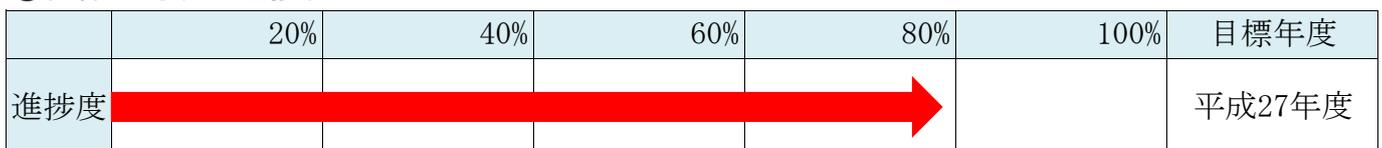
④事業の概要及び目的

特定健康診査は、「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、平成20年度から医療保険者に義務付けられた健診であり、糖尿病、高脂血症、高血圧等の生活習慣病の予防を目的としています。
 亀岡市国民健康保険においては、40歳以上の被保険者を対象とした特定健診を、京都府医師会及び亀岡市医師会に委託し、実施しています。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	特定健診の受診率 60%	特定健診の受診率 34.1%	国 9,943,000 府 9,943,000 市 34,085,225
平成24年度	特定健診の受診率 65%	特定健診の受診率 34.5%	国 10,564,000 府 10,564,000 市 32,263,051
平成25年度	特定健診の受診率 35%	特定健診の受診率 31.4%	国 10,526,000 府 10,526,000 市 27,917,257
平成26年度	特定健診の受診率 40%	特定健診の受診率 33.6%	国 10,075,000 府 10,075,000 市 35,997,963
平成27年度	特定健診の受診率 45%	特定健診の受診率 35.0% (速報値)	国 11,087,000 府 11,087,000 市 35,836,133

⑥目標に対する進捗状況



(その根拠)

平成24年度までの目標値は、第1期亀岡市国民健康保険特定健康診査等実施計画に基づき、設定していましたが、平成25年度から平成29年度までの5ケ年は、第2期計画により、目標値の設定を見直しています。国が示す60%を目標とし、徐々に向上を図るため、平成27年度の目標値は45%に設定しています。これに対し、平成27年度において実績35.0%を達成したため、78%の達成率とします。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

特定健診の受診率については、目標年度の平成27年度の目標値を45%としておりましたが、平成27年度において実績が35.0%のため78%の達成率となりました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

特定健診の受診率についてはあまり大きな変化は見られず、国が示す目標60%にはほど遠い状況です。平成26年度の全国の保険者の平均は35.4%で全国的にも受診率の向上は課題となっており、保険者の努力が求められています。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

特定健診・特定保健指導は糖尿病などの生活習慣病への危険レベルを早期に発見し、生活習慣を改善することで、病気の予防や重症化を防ぐことを目的に実施しています。今後も特定健診の受診率を上げることでより多くの人の健康と長寿を確保し、医療費の抑制につなげていくためにも、特定健診の受診率向上に積極的に取り組んでいく必要があります。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	地域福祉課	係	地域福祉係
担当者		塚本	直通	25-5029	内線	2713

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	2	解決策	1	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	13
②事業名	福祉コミュニティ推進事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

亀岡市社会福祉協議会と連携して、地域の人同士が「見守り」「話し合い」「助け合い」といった支えあい活動を実践するための基盤となる福祉コミュニティの組織（地区社協）づくりを支援します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> 亀岡市社会福祉協議会に業務の委託を行う 地区社協の設立支援や運営支援を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 亀岡市社会福祉協議会に業務の委託を行った。 地区社協の設立支援や運営支援を行った。（H23新規設立2件、合計12件） 	2,700,000
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> 亀岡市社会福祉協議会に業務の委託を行う 地区社協の設立支援や運営支援を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 亀岡市社会福祉協議会に業務の委託を行った。 地区社協の運営支援を行った。（H24新規設立0件、合計12件） 	2,600,000
平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> 亀岡市社会福祉協議会に業務の委託を行う 地区社協の設立支援や運営支援を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 亀岡市社会福祉協議会に業務の委託を行った。 地区社協の運営支援を行った。（H25新規設立0件、合計12件） 	2,600,000
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> 亀岡市社会福祉協議会に業務の委託を行う 地区社協の設立支援や運営支援を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 亀岡市社会福祉協議会に業務の委託を行った。 地区社協の運営支援を行った。（H26新規設立0件、合計12件） 	2,200,000
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> 亀岡市社会福祉協議会に業務の委託を行う 地区社協の設立支援や運営支援を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 亀岡市社会福祉協議会に業務の委託を行った。 地区社協の運営支援を行った。（H27新規設立0件、合計12件） 	2,100,000

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

各年度の計画的な進捗により平成27年度において100%の実施ができた。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

亀岡市社会福祉協議会と連携して、地域の人同士が「見守り」「話し合い」「助け合い」といった支えあい活動を実践するための基盤となる福祉コミュニティの組織（地区社協）づくりを支援します。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

福祉コミュニティの組織（地区社協）づくりを支援することにより地域の人同士が支えあい活動を実践するための基盤となる組織をつくる必要がある。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

今後もさらに亀岡市社会福祉協議会と連携して、福祉コミュニティの組織（地区社協）づくりを支援する必要がある。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	子育て支援課	係	子育て支援係
担当者		廣瀬	直通	25-5027	内線	2733

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	3	解決策	1	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	14
②事業名	亀岡市子育て支援センター事業、地域子育てひろば事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

亀岡市子育て支援センターを子育て支援の中核施設として、ひろば事業、つどい事業、相談事業や情報提供事業等の取り組みの充実や、コーディネート機能の強化を図る。また、地域の子育て支援団体による子育て支援拠点事業「ひろば型」を展開する。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	ひろば事業・つどい事業参加者数 33,700人	33,831人 -内訳- ひろば事業27,723人 つどい事業 3,785人 ファミサポ 2,323人	委託料17,056,000円
平成24年度	ひろば事業・つどい事業参加者数 33,950人	34,168人 -内訳- ひろば事業28,019人 つどい事業 3,320人 ファミサポ 2,829人	委託料17,156,000円
平成25年度	ひろば事業・つどい事業参加者数 34,200人	33,132人 -内訳- ひろば事業27,335人 つどい事業 3,301人 ファミサポ 2,496人	委託料16,666,000円
平成26年度	ひろば事業・つどい事業参加者数 34,450人	34,273人 -内訳- ひろば事業28,960人 つどい事業 3,085人 ファミサポ 2,228人	委託料16,726,000円
平成27年度	ひろば事業・つどい事業参加者数 34,700人	35,398人 -内訳- ひろば事業29,995人 つどい事業 3,103人 ファミサポ 2,300人	委託料16,753,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

亀岡市次世代育成支援行動計画（後期計画）及び亀岡市子ども・子育て支援事業計画に基づき、順調に進捗しました。
第4次総合計画期間内で、毎年事業の充実やコーディネート機能の強化を行い、市民ニーズに対応することとしているため、目標到達年度から進捗度を算出しています。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

亀岡市子育て支援センターを中心とした、ひろば事業、つどい事業等の地域子育て支援拠点事業への延べ参加者数は増加傾向にあり、各種子育てに関する相談および情報提供の場や、子育て中の親子同士が、気軽にふれあい、交流することができる場を提供できたものと考えます。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

地域子育て支援拠点の延べ利用者数は増加傾向にあるものの、利用者はまだまだ限られていると考えられることから、より多くの子育て世帯が利用できるよう、当該事業の更なる広報に努めるとともに、複雑化する市民ニーズへのきめ細やかな対応が求められていると考えます。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

子育て中の親子が地域で孤立することがないように、気軽にふれあい、交流することができる場を引き続き確保するとともに、広く情報提供に努め、地域子育て支援拠点等において、安心して交流し、過ごすことができるよう、今後も地域ぐるみで子育てを支援する環境づくりに取り組んでいきます。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	高齢福祉課	係	介護保険係
担当者		高橋依子	直通	0771-25-5182	内線	2772

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	4	解決策	3	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	15
②事業名	介護サービス事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

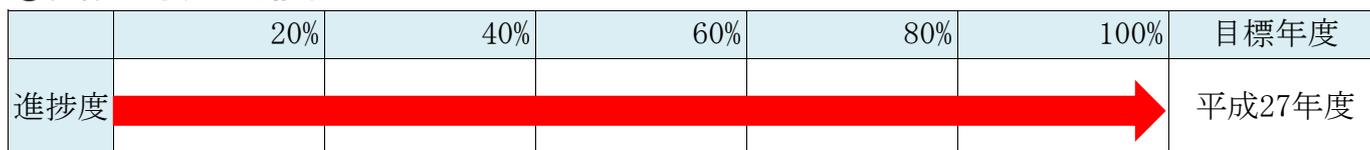
④事業の概要及び目的

介護保険事業計画に基づき、要介護（支援）者が状態に応じて必要な居宅サービスや施設サービスを利用できるよう、サービス供給体制の充実を図ります。
 目指す目標は、介護保険地域密着型サービス事業所数を平成27年度に16事業所とします。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険地域密着型サービス事業所数16事業所 介護保険事業計画策定 	(現状) ・小規模多機能型居宅介護事業所 4事業所 ・認知症高齢者グループホーム 6事業所 ・認知症対応型通所介護事業所 1事業所 計 11事業所 ○第5期介護保険事業計画策定	介護保険給付費 4,918,667,442円
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険地域密着型サービス事業所数16事業所 	平成23年度末から会員数は減少したが、就業率・就業延人数・受注件数等は増加	介護保険給付費 5,202,486,869円
平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険地域密着型サービス事業所数16事業所 	(現状) ・小規模多機能型居宅介護事業所 5事業所 ・認知症高齢者グループホーム 7事業所 ・認知症対応型通所介護事業所 2事業所 計 14事業所 ○第5期介護保険事業計画推進	介護保険給付費 5,204,737,271円
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険地域密着型サービス事業所数16事業所 介護保険事業計画策定 	(現状) ・小規模多機能型居宅介護事業所 5事業所 ・認知症高齢者グループホーム 7事業所 ・認知症対応型通所介護事業所 2事業所 計 14事業所 ○第6期介護保険事業計画策定	介護保険給付費 5,557,621,498円
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険地域密着型サービス事業所数16事業所 	(現状) ・小規模多機能型居宅介護事業所 6事業所 ・認知症高齢者グループホーム 8事業所 ・認知症対応型通所介護事業所 2事業所 計 16事業所 ○第6期介護保険事業計画推進	介護保険給付費 5,772,015,532円

⑥目標に対する進捗状況



(その根拠)

平成27年度に2事業所新規開設となり、当初目標16事業所に達したため100%の達成率とする。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

高齢者がいつまでも住み慣れた地域で、安心して暮らすことができるよう、介護保険事業計画に基づき、要介護（支援）者が状態に応じて必要な居宅サービスや施設サービスを利用できるよう、サービス供給体制の充実を図った。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

高齢者の増加に伴い、各種サービスへのニーズも高まっており、特に施設サービスについては、待機者が発生している。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

被保険者の負担を勘案しながら、各種サービスの提供をはじめ介護施設の計画的な整備など、介護保険制度の適切な運用に努めていく。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	障害福祉課	係	障害者給付係
担当者		吉田	直通	25-5189	内線	2755

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	5	解決策	2	具体的施策	4	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	16
②事業名	障害者自立支援給付事業（グループホーム等）									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

障害者が地域で安心して、自立した生活ができる場所づくりのため、夜間や休日に共同生活を行う住居で、入浴、排泄、食事等の介護及び相談や日常生活上の援助を行う。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	グループホーム、ケアホーム 設置数 16箇所	グループホーム、ケアホーム 設置数 15箇所	0
平成24年度	グループホーム、ケアホーム 設置数 17箇所	グループホーム、ケアホーム 設置数 16箇所	0
平成25年度	グループホーム、ケアホーム 設置数 18箇所	グループホーム、ケアホーム 設置数 16箇所	0
平成26年度	グループホーム、ケアホーム 設置数 19箇所	グループホーム、ケアホーム 設置数 16箇所	0
平成27年度	グループホーム、ケアホーム 設置数 20箇所	グループホーム、ケアホーム 設置数 17箇所	0

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

各年度1箇所ずつ設置される予定で目標を設定。27年度を100%目標として、27年度では17箇所設置されているので85%とした。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

地域で安心して暮らせるよう限られた施設数ではあるが、一定の効果は得られた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

事業所のグループホーム設置について思うように数が増えないなか、待機者の解消をどのように図るかが課題である。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

グループホーム設置について、補助制度もないため、当面、事業所の動向を見ていきたい。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	生涯学習部	課	市民力推進課	係	市民活動推進係
担当者		山口福子	直通	25-5002	内線	2212

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	1	解決策	1	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	17
②事業名	学習成果が生きる仕組みづくり									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

<p>生涯学習活動や社会体験を通じて多様な知識や技術、人的なネットワークなどを習得した人材が、地域や学校で次の世代や新たな活動参加者にその蓄積を伝え、また、地域の課題解決や地域の活性化に活躍する仕組みづくりとして、生涯学習人材バンク等を進めます。</p>

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・生涯学習人材バンクを活用した、学習成果の還元 （人材バンク登録者数62人）	・生涯学習人材バンクの利用（2件） ・人材バンク登録者数 62人	0円
平成24年度	・生涯学習人材バンクを活用した、学習成果の還元 （人材バンク登録者数64人）	・生涯学習人材バンクの利用（4件） ・人材バンク登録者数 63人 ・人材バンク活用に向けての他市等状況調査 （生涯学習かめおか財団）	0円
平成25年度	・生涯学習人材バンクを活用した、学習成果の還元 （人材バンク登録者数66人）	・生涯学習人材バンクの利用（4件） ・人材バンク登録者数 66人	0円
平成26年度	・生涯学習人材バンクを活用した、学習成果の還元 （人材バンク登録者数68人）	・生涯学習人材バンクの利用（4件） ・人材バンク登録者数 69人	0円
平成27年度	・生涯学習人材バンクを活用した、学習成果の還元 （人材バンク登録者数70人）	・生涯学習人材バンクの利用（2件） ・人材バンク登録者数 71人	0円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

<p>前期基本計画において人材バンク登録者数を平成21年度の57人から増加させるとしています。その具体的目標値として平成27年度までに登録者数を70人と設定していた数値を達成したことから、100%の達成度とします。</p>

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

目標年度までの登録者数については、目標に対して実績が100%となり、当初掲げて目標を達成することができました。地域や学校で次の世代や新たな活動参加者にその知識を伝え、また、地域の課題解決や地域の活性化に活躍する仕組みづくりとして、生涯学習人材バンク等を進めることができました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

人材バンク登録者数は当初の目標を達成することができましたが、利用件数がまだまだ少ないのが現状です。今後はもっと広く知っていただくためにも制度の広報を強化する必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降についても事業を展開することとし、人材バンク登録者の活躍の場を広げることにより、地域の課題解決や地域の活性化につながる仕組みづくりを進めます。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	教育総務課	係	施設係
担当者		山本 智明	直通	25-6766	内線	3714

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	2	解決策	2	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	18
②事業名	耐震化整備事業・大規模改造事業・新增改築事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

<p>学校施設の安全性を確保するため、計画的に耐震化を実施するとともに、大規模改修や増改築等により教育施設の整備を推進します。</p>

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 亀岡小（～H24年度）、安詳小（1棟）、千代川小（1棟） ・ 亀岡中学校（～平成24年度） ・ 耐震化率 90.2% 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 亀岡小学校（～平成24年度） ・ 安詳小学校（1棟） ・ 千代川小学校（1棟） ・ 亀岡中学校（～平成24年度） 	(小学) 181,203,118円 (明許繰越) 102,214,361円 (中学) 455,847,000円
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 亀岡小学校（1棟） ・ 安詳小学校（～平成25年度） ・ 亀岡中学校（4棟） ・ 耐震化率 94.6% 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 亀岡小学校（1棟） ・ 安詳小学校（～平成25年度） ・ 亀岡中学校（4棟） 	(小学) 191,213,335円 (繰越) 118,575,000円 (中学) 739,448,756円 (繰越) 3,503,225円
平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 亀岡小（～H26年度） ・ 安詳小（1棟） ・ 川東小・高田中（～H27年度） ・ 亀岡市立幼稚園（1棟） ・ 耐震化率 95.5% 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 亀岡小学校（～平成26年度） ・ 安詳小学校（1棟） ・ 川東小・高田中（～H27年度） ・ 亀岡市立幼稚園（～H26年度） 	(小学現) 179,327,491円 (小明繰) 548,374,602円 (中通繰) 155,875,036円 (中明繰) 397,608,229円 (幼通繰) 192,560,893円
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 亀岡小学校（1棟） ・ 川東小学校（～平成27年度） ・ 高田中学校（～平成27年度） ・ 耐震化率 96.4% 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 亀岡小学校（1棟） ・ 川東小学校（～平成27年度） ・ 高田中学校（～平成27年度） ・ 亀岡市立幼稚園（1棟） 	(小学現) 272,550,650円 (小通繰) 246,752,000円 (中学現) 3,480,750円 (中通繰) 209,942,000円 (幼稚現) 313,674,408円
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 川東小学校（2棟） ・ 高田中学校（1棟） ・ 保津小学校（1棟） ・ 耐震化率 100.0% 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 川東小学校（2棟） ・ 高田中学校（1棟） ・ 保津小学校（1棟） 	(小学現) 448,376,600円 (中学現) 292,440,640円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

<p>平成23年3月末時点において耐震改修・新增築等の整備が必要な棟は14棟あり、平成28年3月末時点において全14棟の耐震化を完了しました。よって平成27年度の進捗度は、14棟/14棟＝100%とします。</p>

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

当初計画に従い、対象すべてについて耐震化を完了しました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

さらなる安全確保のため、照明器具等の『非構造部材』の耐震化を推進していく計画ですが、国庫補助の採択状況は厳しいものとなっており、財源の確保が課題となります。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	学校教育課	係	指導係
担当者		田中利昭	直通	0771-25-6786	内線	3736

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	2	解決策	具体的施策	枝番号	
	「目指す目標」に該当する事業						番号	19
②事業名	市立小中学校児童生徒の年間読書冊数							
③継続・新規	平成27年度実施事業							

④事業の概要及び目的

小中学校の教育活動に沿った図書の充実を図るとともに、読書タイム等を設ける等本を通じて、自ら学び、考え、主体的に判断し、行動できる児童生徒を育成する。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	児童生徒の年間読書冊数 5.5万冊	児童生徒の年間読書冊数 3.5万冊	—
平成24年度	児童生徒の年間読書冊数 5.7万冊	児童生徒の年間読書冊数 43.6万冊	—
平成25年度	児童生徒の年間読書冊数 6.0万冊	児童生徒の年間読書冊数 4.3万冊	—
平成26年度	児童生徒の年間読書冊数 6.3万冊	児童生徒の年間読書冊数 4.2万冊	—
平成27年度	児童生徒の年間読書冊数 6.5万冊	児童生徒の年間読書冊数 4.2万冊	—

※⑤の平成25～27年度の「当初目標」欄に記載された事項は、現時点での目標であり、実施が確約されたものではありません。

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

平成27年度の目標6.5万冊に対し4.2万冊であるため、65%とする

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

朝の読み聞かせや読書タイム等を設け、本を通じて、自ら学び、考え、主体的に判断し、行動できる児童生徒を育成することができた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

読書離れをくい止めるため、より一層読書に親しむ機会の充実を図る必要がある。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

本を通じて学び、豊かな心を育むため、今後も引き続き読書活動の推進を継続する。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	図書館	係	
担当者		岸田 敦子	直通	24-4710	内線	

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	3	解決策	3	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	20
②事業名	図書館サービス充実事業（図書及び資料の充実）									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

<p>市民の要望に応えられるよう、幅広い資料を計画的に収集し、充実を図ります。 郷土資料や行政資料等、地域の特色を活かした資料の充実を図り、資料提供の環境を整えます。</p> <p>レファレンスを充実させると共に、図書館の利活用やおはなし会等の行事について積極的な広報活動を行い、利用者や市民一人当たりの年間貸出冊数の増加を図ります。</p>

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・市民一人当たり年間貸出冊数 4.9冊	・図書購入冊数（12,180冊） ・視聴覚資料購入点数（CD137点、DVD134点） ・市民一人当たり年間貸出冊数（4.79冊） ・総貸出冊数（446,167冊）	44,314,289円
平成24年度	・市民一人当たり年間貸出冊数 5.0冊	・図書購入冊数（5,662冊） ・視聴覚資料購入点数（CD111点、DVD58点） ・市民一人当たり年間貸出冊数（4.85冊） ・総貸出冊数（448,904冊）	41,125,526円
平成25年度	・市民一人当たり年間貸出冊数 5.1冊	・図書購入冊数（5,496冊） ・視聴覚資料購入点数（CD85点、DVD77点） ・市民一人当たり年間貸出冊数（4.44冊） ・総貸出冊数（408,105冊）	39,867,548円
平成26年度	・市民一人当たり年間貸出冊数 5.2冊	・図書購入冊数（7,189冊） ・視聴覚資料購入点数（CD102点、DVD83点） ・市民一人当たり年間貸出冊数（4.66冊） ・総貸出冊数（425,702冊）	42,215,683円
平成27年度	・市民一人当たり年間貸出冊数 5.3冊	・図書購入冊数（5,683冊） ・視聴覚資料購入点数（CD96点、DVD84点） ・市民一人当たり年間貸出冊数（4.77冊） ・総貸出冊数（432,484冊）	41,977,439円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

<p>「目指す目標」の市民一人当たり年間貸出冊数5.30冊に対して、平成27年度は4.77冊であったことから、達成率は90%とします。 平成27年度は図書館全体で貸出人数・冊数ともに微増が見られます。</p>
--

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

利用者の要望に応えられるよう、図書や資料を幅広く計画的に収集し図書館の蔵書の充実を図るとともに、府内のネットワークも活用して予約やリクエストにこたえることができています。

また、郷土資料や行政資料等、地域の特色を活かした資料等についても充実を図り、資料提供の環境を整えることができました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

収集した資料を利用し、さらにそれをレファレンス業務にいかすためには、図書館職員の資料に対する知識と利用者へ対応する能力が必要となります。それらを向上・充実させるには時間がかかり、対応する職員によってサービスの提供が異なっている場合もあります。

また、おはなし会等の図書館行事や本の展示などによる利用への読書の啓発も広報誌等により行っていますが、図書館を利用される方には効果がみられるものの、利用をされない方には積極的な広報活動が充分ではなく、収集した資料をさらに利用していただくためのさらなる広報活動が必要です。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

今後も、図書館資料の充実に努めるとともに、市民の要望に応えられるよう、研修や情報の共有により、職員のレファレンスへの対応能力を向上させるとともに、図書館の利活用やおはなし会等の行事の積極的な広報活動を行い、図書館利用の促進に努めることとします。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	社会教育課	係	社会教育係
担当者		宮川 泰一	直通	25-5054	内線	3752

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	3	解決策	2	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	21
②事業名	心の教育推進事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

<p>地域における様々な教育機能が連携し、子どもたちの成長を支援することが必要です。心の教育推進委員会をはじめ、地域の組織や団体、保護者、ボランティアなどの協力を得る中で、地域全体で子どもを育てる環境づくりを推進するため、市内23地区において「子ども心の教育推進事業」を委託事業として実施しています。</p>
--

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	「子ども心の教育推進事業」参加者数(4,800人)	「子ども心の教育推進事業」参加者数(4,866人)	1,328,739
平成24年度	「子ども心の教育推進事業」参加者数(4,900人)	「子ども心の教育推進事業」参加者数(5,003人)	1,367,275
平成25年度	「子ども心の教育推進事業」参加者数(5,000人)	「子ども心の教育推進事業」参加者数(5,253人)	1,349,739
平成26年度	「子ども心の教育推進事業」参加者数(5,100人)	「子ども心の教育推進事業」参加者数(5,350人)	1,383,360
平成27年度	「子ども心の教育推進事業」参加者数(5,200人)	「子ども心の教育推進事業」参加者数(4,611人)	1,166,000

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

(その根拠)

<p>地域の組織や団体、保護者などの連携により各地区で特色ある取組が展開され、地域全体で子どもを育てる環境づくりを推進し、ふるさとを愛する心の育成を図れたため。 [4,866人(H23実績)+5,003人(H24実績)+5,253人(H25実績)+5,350人(H26実績)+4,611人(H27実績)] ÷ 25,000人(H23～28の合計) ≒ 100.3%</p>

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

目標年度までの参加者人数は、目標に対して実績が100%となり、地域の組織や団体、保護者などが連携して各地区で特色のある取組が展開できました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

参加者については、目標人数を上回り、子ども心の教育推進事業の裾野を広げることができましたが、少子化により児童の減少が見込まれることから、関心を向けられるような内容を発信できるよう工夫が必要です。

○取組内容の周知や質の向上

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降については、引き続き事業を展開し、市内23地区において地域全体で子どもを育てる環境づくりを更に推進します。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	教育部	課	文化資料館	係	文化資料館
担当者		八木	直通	25-5067	内線	

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	4	解決策	3	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	22
②事業名	新資料館構想の策定									
③継続・新規	平成26年度実施事業									

④事業の概要及び目的

新資料館構想の策定のために、様々な意見を広く聴き、市民が求めるより良い資料館像を模索している。24年度と25年度は、新しい資料館には何が必要か、子どもたちへのアプローチの手法などを学ぶための連続講座を既存事業の枠の中で開催しました。26年より、新資料館構想策定事業として、検討委員会を立ち上げ、望ましい新資料館のあり方について、具体的な内容の検討をすすめています。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度			
平成24年度	広く意見を得る機会を持つ（講座）	連続文化財講座4回開催（延べ94人参加）	0円
平成25年度	子どもへのアプローチを進める（講座）。具体的な事業進行や資料整理方法について学ぶ（視察）。	連続文化財講座2回開催（延べ24人参加：内、大人7人、子ども17人）	0円
平成26年度	新資料館構想策定委員会開催及び中間報告	委員会設置（委員数14名）／委員会開催（4回）／先進地視察（2回、3館）／中間報告書を作成	新資料館構想策定経費（1,360,441円）
平成27年度	新資料館構想策定委員会の開催及び、新資料館構想の策定	委員会開催（6回）／先進地視察（1回、2館）／亀岡市新資料館構想を策定	新資料館構想策定経費（1,506,000円）

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

平成26年度から、委員会を立ち上げ、具体的に検討をすすめました。平成27年度についても、委員会開催や先進地視察も実施し、新資料館構想も策定できたことから、100%としました。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

目標としていた亀岡市新資料館構想が策定できました。構想の内容については、出来るだけ多くのみなさんに理解していただくために、印刷物（冊子）を作成して配布しています。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

新資料館構想策定にあたり、委員会（委員14名）を10回開催し、パブリックコメントも実施し、多くの意見も頂いた中で、新資料館構想を策定できたと考えています。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降については、第4次亀岡市総合計画（後期計画）や亀岡市公共施設総合管理計画などとの整合にも留意しながら、新資料館構想に基づいて、具体化をすすめていきたいと考えています。

特に、総合計画後期5年の中で、当初は、資料館協議会の設定・開催やホームページなど広報活動の充実に力をいれ、後半では、実際に基本計画の策定に向けて進めていきたいと考えています。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	生涯学習部	課	スポーツ推進課	係	
担当者		篠部 昌和	直通	0771-25-5055	内線	2252

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	5	解決策	具体的施策	枝番号	
	「目指す目標」に該当する事業						番号	23
②事業名	各種スポーツ大会・教室参加者数							
③継続・新規	平成27年度実施事業							

④事業の概要及び目的

生涯スポーツの目標を、H21（10,735人）→ H27（13,000人）／関係機関との連携を強固なものとし、人的資産、既存施設を活用した地域を拠点としたスポーツネットワークの発展、世代間で受け継がれていくスポーツの循環型社会の構築を目指す。ついては、つぎの事業を実施する。①亀岡市民総合体育大会 ②平和祭市民スポーツ大会 ③ギネスに挑戦 ④女性スポーツフェスティバル ⑤元旦ロードレース ⑥市民駅伝 ⑦生涯スポーツデー ⑧健康運動教室 ⑨シニア卓球教室 ⑩スポーツフォーラム ⑪府民総体 ⑫ふれあいスポーツデー ⑬ふれあいハイキング ⑭スポーツ体験教室 ※元旦ロードについては、H27.12.6に市制60周年を記念して「第1回京都亀岡ハーフマラソン」として開催します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	参加人員 ・元旦ロードレース（1,200人）他13事業（10,000人）計11,200人	参加人員 ・元旦ロードレース（1,256人）他13事業（10,613人）計11,869人	5,892,000円
平成24年度	参加人員 ・元旦ロードレース（1,500人）他13事業（10,300人）計11,800人	参加人員 ・元旦ロードレース（1,395人）他12事業（10,803人）計12,198人【駅伝が雨天で中止】	6,758,550円
平成25年度	参加人員 ・元旦ロードレース（1,800人）他13事業（10,600人）計12,400人	参加人員 ・元旦ロードレース（1,539人）他12事業（8,973人）計10,512人	8,176,000円
平成26年度	参加人員 ・元旦ロードレース（0人）他13事業（10,900人）計10,900人	参加人員 ・元旦ロードレース廃止、他12事業計9,809人	5,531,585円
平成27年度	参加人員 ・京都亀岡ハーフマラソン（3,500人）他12事業（11,200人）計14,700人	参加人員 ・京都亀岡ハーフマラソン（3,400人）他12事業（13,876人）計17,276人	12,793,862円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

各種スポーツ大会やスポーツ教室等の参加者数の増加を図るため、事業の見直しなどを行います。平成27年12月には、第1回京都亀岡ハーフマラソンを開催します。平成27年度まで5年間の参加人数61,000人を目標としており、平成27年度までで61,664人です。達成率は100パーセントとします。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

スポーツ事業の見直しを行ってきた成果で、達成率が100%となった。特に、第1回京都亀岡ハーフマラソン大会では、3,400人の出走者でありましたが、約9,000人が亀岡運動公園に集まり、亀岡市の魅力を体感していただくことができた。亀岡市のPRに繋がった。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

また、全体的にスポーツ事業の見直しが必要であると思います。特に、京都亀岡ハーフマラソン大会については、交通規制等の課題があるので、慎重に解決していくようにする。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降については、引き続き事業を展開することとし、スポーツ事業の参加者数の増加に伴うスポーツへの関心を高めるため、さらにPR活動を強化していくこととします。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	生涯学習部	課	市民力推進課	係	文化・国際交流係
担当者		小林ゆかり	直通	25-5002	内線	2213

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	4	節	6	解決策	1	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	24
②事業名	住民交流推進事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

<p>住民主体の交流事業の拡充に向け、他市における文化・スポーツ事業等の情報を提供します。</p>

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	京都市西京区・亀岡市住民交流推進事業参加者数（850人）	京都市西京区・亀岡市住民交流推進事業参加者数（745人）	住民交流推進経費（84,599円）
平成24年度	京都市西京区・亀岡市住民交流推進事業参加者数（900人）	京都市西京区・亀岡市住民交流推進事業参加者数（828人）	住民交流推進経費（73,415円）
平成25年度	京都市西京区・亀岡市住民交流推進事業参加者数（900人）	京都市西京区・亀岡市住民交流推進事業参加者数（683人）	住民交流推進経費（26,950円）
平成26年度	京都市西京区・亀岡市住民交流推進事業参加者数（1,000人）	京都市西京区・亀岡市住民交流推進事業参加者数（705人）	住民交流推進経費（80,925円）
平成27年度	京都市西京区・亀岡市住民交流推進事業参加者数（1,000人）	京都市西京区・亀岡市住民交流推進事業参加者数（767人）	住民交流推進経費（78,472円）

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

<p>亀岡市で開催された事業の参加者数を数値目標にしており、亀岡市と西京区とで交互に会場を移し開催される事業があるため、その事業が西京区で開催される年度は数値目標を前年度と同じにし、亀岡市で開催される年度では、前年度より増加させることとしています。 平成27年度までの参加者数の目標合計が4,650人であるのに対し、平成27年度までの参加者数は3,728人であり、達成率は80%となりました。</p>
--

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

目標年度までの参加者数は目標に対して実績が80%となりました。
目標参加者数には届きませんでしたが、毎年700人を超える区市民が事業に参加し交流を深めています。また、交流事業数も平成23年度の9事業から平成27年度は11事業と増加しました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

交流事業数は増加しましたが、事業数の増加が必ずしも参加人数の増加につながっていません。参加者数増加のためには、より積極的なPR活動が必要です。
また、交流事業以外にも、西京区との住民交流が進むよう、両区市の行事情報を積極的に広報していく必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降も引き続き交流事業を展開することとします。また、両区市の住民交流をさらに進めるため、イベント等のチラシの配架や広報誌やホームページへの掲載等、両区市の情報交流、広報を積極的に進めていきます。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	環境市民部	課	環境政策課	係	環境保全係
担当者		齊藤和則	直通	25-5024	内線	2514

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	5	節	1	解決策	3	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	25
②事業名	公害監視活動									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

公害の未然防止、早期発見及び迅速な対応を行うため、公害監視活動を実施し、適切な改善指導及び啓発を行うことで、公害のないまちづくりを進めます。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	公害苦情の低減に向けた公害監視活動の実施 ・河川水質検査（年6回） ・環境騒音測定（年1回） ・雑草過繁茂監視及び適正化指導(年2回) ・公害監視パトロール（月2回、24回/年）	公害苦情の低減に向けた公害監視活動の実施 ・河川水質検査（年6回） ・環境騒音測定（年1回） ・雑草過繁茂監視及び適正化指導(年2回) ・公害監視パトロール（18回/年）	市 1,518,130円
平成24年度	公害苦情の低減に向けた公害監視活動の実施 ・河川水質検査（年6回） ・環境騒音測定（年1回） ・雑草過繁茂監視及び適正化指導(年2回) ・公害監視パトロール（月2回、24回/年）	公害苦情の低減に向けた公害監視活動の実施 ・河川水質検査（年6回） ・環境騒音測定（年1回） ・雑草過繁茂監視及び適正化指導(年2回) ・公害監視パトロール（33回/年）	市 2,025,488円
平成25年度	公害苦情の低減に向けた公害監視活動の実施 ・河川水質検査（年6回） ・環境騒音測定（年1回） ・雑草過繁茂監視及び適正化指導(年2回) ・公害監視パトロール（月2回、24回/年）	公害苦情の低減に向けた公害監視活動の実施 ・河川水質検査（年6回） ・環境騒音測定（年1回） ・雑草過繁茂監視及び適正化指導(年2回) ・公害監視パトロール（34回/年）	市 1,975,150円
平成26年度	公害苦情の低減に向けた公害監視活動の実施 ・河川水質検査（年6回） ・環境騒音測定（年1回） ・雑草過繁茂監視及び適正化指導(年2回) ・公害監視パトロール（月3回、36回/年）	公害苦情の低減に向けた公害監視活動の実施 ・河川水質検査（年6回） ・環境騒音測定（年1回） ・雑草過繁茂監視及び適正化指導(年2回) ・公害監視パトロール（36回/年）	市 1,973,360円
平成27年度	公害苦情の低減に向けた公害監視活動の実施 ・河川水質検査（年6回） ・環境騒音測定（年1回） ・雑草過繁茂監視及び適正化指導(年2回) ・公害監視パトロール（月4回、48回/年）	公害苦情の低減に向けた公害監視活動の実施 ・河川水質検査（年6回） ・環境騒音測定（年1回） ・雑草過繁茂監視及び適正化指導(年2回) ・公害監視パトロール（48回/年）	市 2,377,736円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

①河川水質検査：平成23～27年度まで年6回×5カ年＝30回、②環境騒音測定：平成23～27年度まで年1回×5カ年＝5回、③雑草過繁茂監視及び適正化指導：平成23～27年度まで年2回×5カ年＝10回、④公害監視パトロール：平成23～25年度：年24回×3カ年、平成26年度：年36回、平成27年度：48回＝156回
目標年度までの目標活動回数201回（①～④の計）に対して平成27年度までの実績は214回で、平成27年度の進捗度は214÷201＝0.781＝106%となる。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

豊かな自然環境と市民の快適な生活環境を保全すべく、定期的な環境測定と是正指導に努めているところです。要監視事案の多くは根本的解決が困難な事案がほとんどですが、粘り強い監視活動の継続により周辺市民からは問題解決に向けた本市の積極姿勢について一定の理解・評価を得ているところです。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

目標及び実績の指標を数値に表わしにくい業務であり、数値管理による実績評価にはなじまないと考える。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

いずれの事案も根本解決が困難な事案であり、今後も継続監視が必要である。今後も件数は増加することが予想されるため、年度毎に内容を精査し、定期的な監視活動に努める。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	環境市民部	課	環境政策課	係	環境総務係
担当者		園田 恭丈	直通	25-5023	内線	2512

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	5	節	2	解決策	2	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	26
②事業名	亀岡市地球温暖化対策地域推進計画の推進									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

平成21年1月に策定した「亀岡市地球温暖化対策地域推進計画」に基づき、地球温暖化防止への取組みを促進します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	平成30年度までに平成2年度比10%削減(目標値323.1千t-CO2)	(参考数値) 平成21年度温室効果ガス排出量：314.4千t-CO2 (12.5%減) (注) 基礎データの確定が2年後となります	185,699円
平成24年度	ライトダウンinかめおかの実施 みどりのカーテン事業の実施	(参考数値) 平成22年度温室効果ガス排出量：337.0千t-CO2 (6.2%減) ライトダウンinかめおかの実施(平成24年10月6日) みどりのカーテンモデル事業の実施(8箇所)	75,002円
平成25年度	ライトダウンinかめおかの実施 みどりのカーテン事業の実施	(参考数値) 平成23年度温室効果ガス排出量：401.1千t-CO2 (11.7%増) ライトダウンinかめおかの実施(平成25年8月7日、10月5日) みどりのカーテンモデル事業の実施(10箇所)	93,200円
平成26年度	ライトダウンinかめおかの実施 みどりのカーテン事業の実施	(参考数値) 平成24年度温室効果ガス排出量：424.8千t-CO2 (18.3%増) ライトダウンinかめおかの実施(平成26年8月7日) みどりのカーテンモデル事業の実施(29箇所)	140,440円
平成27年度	ライトダウンinかめおかの実施 みどりのカーテン事業の実施	(参考数値) 平成25年度温室効果ガス排出量：427.3千t-CO2 (19.0%増) ライトダウンinかめおかの実施(平成27年7月7日、8月7日) みどりのカーテンモデル事業の実施(34箇所)	121,780円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

(その根拠)

亀岡市域における温室効果ガス排出量の削減を目指していますが、基礎データの確定が2年後となるため、実績には2年前の参考数値を記載しています。
また、東日本大震災による原子力発電所の停止に伴い、電力における温室効果ガス排出係数が大幅に増加したことから、平成24年度以降は、地球温暖化防止への取組みの実施をもって進捗とします。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

ライトダウンinかめおか、みどりのカーテン事業が少しずつ定着してきました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

亀岡市地球温暖化対策地域推進計画で定めている亀岡市域の温室効果ガス削減目標は、平成30年度までに平成2年度比で10%の削減としていますが、東日本大震災による原子力発電所の停止に伴い、電力における温室効果ガス排出係数が大幅に増加したため、目標達成が困難な状況になっています。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

東日本大震災による原子力発電所の停止に伴い、電力における温室効果ガス排出量が大幅に増加し、目標達成が困難な状況ですが、現計画では、引き続きライトダウンinかめおか、みどりのカーテン事業の取り組みを通じて、普及啓発を図っていきます。また、現計画期間が平成30年度であることから、次期計画の見直し作業を進めていきます。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	環境市民部	課	環境クリーン推進課	係	計画係
担当者		大西光治	直通	27-2120	内線	81110

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	5	節	3	解決策	具体的施策	枝番号	
	「目指す目標」に該当する事業						番号	27
②事業名	3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進							
③継続・新規	平成27年度実施事業							

④事業の概要及び目的

「市民一人当たりの年間ごみ排出量」の削減を目指し、3Rの推進による循環型社会の形成に努めるため、市内量販店等と協定を結び、レジ袋の削減(有料化等)を推進する。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費(円単位)
平成23年度	未実施	なし	0
平成24年度	制度及び協定内容等の検討 市内量販店等との協定締結(目標:15店)	レジ袋削減協定の締結に向けた検討会開催 第1回レジ袋削減推進連絡会開催 市民1人当たりの年間ごみ排出量181kg	0
平成25年度	市内量販店等との協定締結(目標:15店)	レジ袋削減のための連絡会を3回開催し、行政が考えるレジ袋の削減と、量販店やNPO等の市民団体と意見交換や協議を行った。 市民1人当たりの年間ごみ排出量179kg	0
平成26年度	市内量販店等との協定締結(目標:15店)	「レジ袋の削減等に関する意識調査」を実施し、市民のレジ袋利用実態、削減意識等結果を基に、事業者とレジ袋有料化への協議を行った。 市民1人当たりの年間ごみ排出量172kg	0
平成27年度	市内量販店等との協定締結(目標:15店) 市民1人当たりの年間ごみ排出量を184kg以下とする	「レジ袋の削減等に関する意識調査」の結果を基に京都府とともに未実施の事業者に対しレジ袋有料化への働き掛けを行った。 市民1人当たりの年間ごみ排出量166kg	0

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

(その根拠)

平成26年度は、連絡会での意見を踏まえ、「市民への啓発」と「市民への意識調査」を進めていくため、平成26年12月に「レジ袋の削減等に関する意識調査」を実施した。市民のレジ袋の利用実態、削減意識等の調査結果でもって、事業者へレジ袋有料化への協議を行ったが、2事業者からの理解が得られないことから、一斉実施に至っていないところである。今後も、レジ袋削減への取り組みを進めるため、市民への啓発と事業者の理解へ向けて取り組む。進捗率については、市民1人当たりの年間ごみ排出量が達成できたことで50%、15店舗の内、2店舗が実施済であるため、57%とした。(1店舗毎に3.3%、15店舗で50%)

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

目標の「市民一人あたりの年間ごみ排出量」については達成されたが、市内量販店におけるレジ袋の削減（有料化等）については一部の店舗において達成できなかった。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

レジ袋の削減については、有料化以外の方法で取り組みをされている事業所があり、有料化について理解が得られない事業所があった。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

市民一人あたりの年間ごみ排出量の抑制については継続しておこなう。また、レジ袋の削減についてはレジ袋の有料化にこだわらず削減につながる取り組みには評価をしていく方向で検討する。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	環境市民部	課	環境クリーン推進課	係	計画係
担当者		藤原弘樹	直通	27-2120	内線	81102

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	5	節	3	解決策	1	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	28
②事業名	分別収集計画の見直し及びその実施									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

資源循環型のまちづくりを進めるため、ごみの減量化及びリサイクルの推進と市民の利便性の向上を目指して、平成24年度に8ヶ月間、市内一部地域(東本梅町、旭町及び大井町の一部)で、資源ごみの分別拡大モニター収集を実施、得られたデータを活用して第7期亀岡市分別収集計画を策定した。
 平成25年度からスプレー缶・ライターの分別収集を開始した。
 平成26年10月からプラスチック製容器包装及びペットボトルの分別収集を開始した。
 平成27年10月から使用済み小型家電の拠点収集を開始する。
 上記のこと等を通じて、平成27年度における資源化率 17.5%(目指す目標)の達成を目指す。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費(円単位)
平成23年度	新たな分別品目の検討 【資源化率 15.5%】	新たな分別品目の検討 【資源化率 15.6%】	0
平成24年度	モニター地区による新たな分別収集(プラスチック製容器包装、スプレー缶等)の実施(4ヶ月間)【資源化率 16.0%】	モニター地区で8か月間モデル事業を実施 平成25年4月からスプレー缶・使い捨てライターの分別収集実施を決定 【資源化率 16.0%】	市 2,878,530
平成25年度	スプレー缶使い捨てライターの分別収集の実施 【資源化率 16.5%】	スプレー缶・使い捨てライターの分別収集実施 【資源化率 15.2%】	市 70,978,950
平成26年度	プラスチック製容器包装及びペットボトルの分別収集の実施 【資源化率 17.0%】	プラスチック製容器包装及びペットボトルの分別収集の実施 【資源化率 16.4%】	市 19,869,000
平成27年度	新たな分別品目の検討 【資源化率 17.5%】	使用済み小型家電及び水銀体温計・水銀血圧計の拠点回収の実施 【資源化率 17.4%】	市 453,600

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

(その根拠)

本事業は終期を定めない継続事業であるため、計画期間中(H23～27)に1年が経過するごとに20%の進捗度を想定していた。

1年ごとに当初目標に対する進捗率(H23、20.1%/H24、20.0%/H25、18.4%/H26、19.3%/H27、19.9%)を算出し、合計(97.7%)とした。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

目標年度までの資源化率の目標については、目標に対して実績が97.7%となった。分別品目については、スプレー缶・ライター、プラスチック製容器包装・ペットボトル、使用済小型家電・水銀体温計・水銀血圧計を増やしてリサイクルを推進し、概ね当初目的に掲げていたごみ減量・リサイクルの推進ができたと考える。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

分別品目を増やすことは、収集運搬や処理経費がかかるとともに、市民のごみ排出時の負担を増やすことになる。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降についても、ごみの減量化及びリサイクルの推進を目的に継続していくが、収集運搬や処理経費、市民のごみ排出時の負担等を考慮したリサイクルについて検討をする必要がある。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	まちづくり推進部	課	都市整備課	係	区画整理係
担当者		榎本	直通	25-5076	内線	3334

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	5	節	4	解決策	2	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	29
②事業名	土地区画整理事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

土地区画整理事業は、土地区画整理法に基づき都市計画区域内の土地で公共施設の整備改善や宅地の利用増進を図るため、土地の区画形質の変更と公共施設の新設又は変更を行う市街地整備の代表的な手法として広く活用されています。また、地域の特性を活かした、市民・企業・行政の協働による人にやさしい魅力あふれるまちづくりを推進し、計画的な市街地の誘導を行います。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	大井町南部地区30.7ha(施行中) 篠町篠牧田地区(2期)7.9ha(認可) 亀岡駅北地区17.1ha(準備中)	大井町南部地区30.7ha(施行中) 篠町篠牧田地区(2期)7.9ha(施行中) 亀岡駅北地区17.1ha(準備中)	(土地区画整理費) 30,502,500円 (大井町南部) (亀岡駅北地区)
平成24年度	大井町南部地区30.7ha(施行中) 篠町篠牧田地区(2期)7.9ha(施行中) 亀岡駅北地区17.1ha(準備中)	大井町南部地区30.7ha(施行中) 篠町篠牧田地区(2期)7.9ha(施行中) 亀岡駅北地区17.1ha(準備中)	(土地区画整理費) 63,397,603円 (大井町南部) (亀岡駅北地区)
平成25年度	大井町南部地区30.7ha(施行中) 篠町篠牧田地区(2期)7.9ha(完了) 亀岡駅北地区17.1ha(認可) 篠町篠地区(4期)22.8ha(認可)	大井町南部地区30.7ha(施行中) 篠町篠牧田地区(2期)7.9ha(完了) 亀岡駅北地区17.2ha(準備中) 篠町篠地区(4期)22.8ha(準備中)	(土地区画整理費) 130,086,000円 (大井町南部) (亀岡駅北地区) (高野林小林地区)
平成26年度	大井町南部地区30.7ha(施行中) 亀岡駅北地区17.1ha(施行中) 篠町篠地区(4期)22.8ha(施行中) 高野林小林地区16.1ha(認可)	大井町南部地区30.7ha(施行中) 亀岡駅北地区17.2ha(認可) 篠町篠地区(4期)22.8ha(準備中) 高野林小林地区13.6ha(準備中)	(土地区画整理費) 226,811,000円 (大井町南部) (亀岡駅北地区)
平成27年度	大井町南部地区30.7ha(施行中) 亀岡駅北地区17.1ha(施行中) 篠町篠地区(4期)22.8ha(施行中) 高野林小林地区16.1ha(施行中) 寺地区17.4ha(認可)	大井町南部地区30.7ha(施行中) 亀岡駅北地区17.2ha(施行中) 篠町篠地区(4期)22.8ha(準備中) 高野林小林地区13.6ha(準備中) 寺地区17.4ha(準備中)	(土地区画整理費) 181,350,000円 (大井町南部) (亀岡駅北地区)

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

(その根拠)

平成27年度の実績については、2地区が施行中であり、残り3地区については認可されていませんので、85%の達成率とします。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

前期基本計画期間内で篠町篠牧田地区（2期）が事業を完了し、亀岡駅北地区が新たに事業認可を受けました。現在、継続して事業を施行中の大井町南部地区をあわせて、2地区が事業を施行中です。残り3地区については、現在のところ事業認可には至っていませんが、認可に向けて準備が進められています。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

事業認可に至っていない3地区については、事業化に向けた地権者の熟度が高まっていない地区や、事業計画の策定や事業手法の検討などに時間を要している地区など、それぞれ課題がありますが、早期の事業認可に向け鋭意、準備を進められている状況であり、亀岡市としても啓発活動や技術支援を進めていきます。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

準備中の3地区について、後期計画期間中におけるそれぞれの目標年度に向け、事業を推進します。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	まちづくり推進部	課	都市計画課	係	景観係
担当者		笠井 祥子	直通	0771-25-5046	内線	3312

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	5	節	5	解決策	2	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	30
②事業名	修景、景観保全のための支援制度の創設									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

景観上重要な建造物や樹木を保全するため、補助制度を創設します。また、良好なまちなみ形成を誘導するため、修景や景観保全を支援する制度を創設します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度			
平成24年度	補助要綱（案）検討、作成	<ul style="list-style-type: none"> 他市の状況調査、要綱（案）作成 景観計画、条例が住民の反対により頓挫しているため実現できていない。 	—
平成25年度	補助要綱（案）検討、作成	<ul style="list-style-type: none"> 他市の状況調査、要綱（案）作成 景観計画、条例が住民の反対により頓挫しているため実現できていない。 	—
平成26年度	補助要綱（案）検討、作成	<ul style="list-style-type: none"> 亀岡市景観形成助成金交付要綱を作成した。 	—
平成27年度	補助要綱実施	<ul style="list-style-type: none"> 助成金制度について周知した。 	—

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

目標どおり補助要綱の策定を実施し、100%とした。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

目標どおりの年度にて補助要綱(亀岡市景観形成助成金交付要綱)を策定し、申請に応じて景観形成の取り組みを支援できる制度を運用しています。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

補助要綱のうち、景観形成修景助成事業で対象とする城下町地区において、景観協定の締結実績は現在ありません。また、景観重要建造物等保全事業で対象とする景観重要建造物、景観重要樹木についても、指定実績がありません。今後制度を広く周知し、これらの指定等を行い、良好な景観形成を推進していく必要性があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降については、補助要綱について広く周知し、市民の積極的な景観形成活動を支援します。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	まちづくり推進部	課	都市整備課	係	公園緑地係
担当者		中川	直通	25-5071	内線	3332

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	5	節	6	解決策	1	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	31
②事業名	都市公園安全安心緊急総合支援事業他（亀岡運動公園他）									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

<p>大規模地震に備えた市街地の防災性の向上や、公園施設の戦略的な機能保全・向上対策による安全性の確保等、都市公園における総合的な安全・安心対策事業を緊急かつ計画的に実施し、子どもや高齢者をはじめ誰でもが安全で安心して利用できる都市公園の整備を行う都市公園安全安心緊急総合支援事業により、亀岡運動公園の防災機能の強化、公園施設の更新、バリアフリー化を進める。</p>

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> 公園施設の更新及びバリアフリー化 9箇所 都市公園整備面積 62.37ha 	<ul style="list-style-type: none"> 公園施設の更新及びバリアフリー化 9箇所 都市公園整備面積62.37ha 	94,900,000
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> 公園施設の更新、バリアフリー化及び防災機能の強化 11箇所 都市公園整備面積 62.44ha 	<ul style="list-style-type: none"> 公園施設の更新、バリアフリー化及び防災機能の強化 11箇所 都市公園整備面積 62.44ha 	109,272,000
平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> 公園施設の更新、バリアフリー化及び防災機能の強化 4箇所 都市公園整備面積 63.54ha 	<ul style="list-style-type: none"> 公園施設の更新、バリアフリー化及び防災機能の強化 4箇所 都市公園整備面積 62.44ha 	129,398,000
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> 公園施設の更新、バリアフリー化及び防災機能の強化 2箇所 都市公園整備面積 63.54ha 	<ul style="list-style-type: none"> 公園施設の更新、バリアフリー化及び防災機能の強化 3箇所 都市公園整備面積 62.44ha 	135,291,600
平成27年度	—	<ul style="list-style-type: none"> 公園施設の更新、バリアフリー化及び防災機能の強化 1箇所（繰越分） 都市公園整備面積 63.54ha 	6,379,760

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

<p>本事業は、平成23年度～平成25年度の3箇年計画でしたが、防災機能の強化に伴う用地取得の関係から事業期間を1箇年延長した。 平成26年度は施設の更新と防災機能の強化を実施し整備計画が終了し、一部、平成27年度に繰越された事業についても完了しましたので達成率を100%とします。</p>

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

計画どおりに事業が完了し、市街地の防災性の向上や公園施設の戦略的な機能保全・安全性が確保され、子どもや高齢者をはじめ誰でもが安全で安心して利用できる都市公園の整備ができた。亀岡運動公園の防災機能の強化、公園施設の更新、バリアフリー化が完了した。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

不測の事態により、事業完了年度が一年延長された。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

当該事業としては平成27年度で整備計画が完了し、新たな防災・安全対策事業の実施は現在のところ予定なし。
公園施設の更新については公園施設長寿命化計画等に引き継がれ、今後、計画的に施設の更新を実施する。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	農林振興課	係	担い手支援係
担当者		林田 祐哉	直通	25-5036	内線	3154

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	1	解決策	1	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	32
②事業名	担い手確保・育成支援事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

農業の担い手の確保・育成等の支援事業に取り組む亀岡地域農業再生協議会への助成事業として実施しています。亀岡地域農業再生協議会では、担い手への農地集積、京のブランド野菜等の産地づくりや地域農場づくりのための農業者の交流会の開催及び新規就農支援などの農業振興施策の展開により、経営感覚に優れた地域の担い手の支援を行っています。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	認定農業者数累計 計90名	認定農業者数 (5名減少、計81名)	亀岡地域農業再生協議会活動経費 500,000円
平成24年度	認定農業者数累計 計92名 (うち新規就農者 2名増)	認定農業者数 (11名増加、計92名)	亀岡地域農業再生協議会活動経費 500,000円
平成25年度	認定農業者数累計 計94名 (うち新規就農者 4名増)	認定農業者数 (6名増加、1名廃業 計97名)	亀岡地域農業再生協議会活動経費 600,000円
平成26年度	認定農業者数累計 計96名 (うち新規就農者 6名増)	認定農業者数 (8名増加、計104名)	亀岡地域農業再生協議会活動経費 500,000円
平成27年度	認定農業者数累計 計120名 (うち新規就農者 10名増)	認定農業者数 (22名増加、計126名)	亀岡地域農業再生協議会活動経費 500,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

(その根拠)

・進捗度： $(500名(23・24・25・26・27実績計)) \div 492名(23\sim27目標累計) = 1.016 = 101\%$
 ・認定農業者とは＝本人が経営規模拡大や、経営内容改善など5年後の目標を「農業経営改善計画」として作成し、その計画が実行可能と判断できる場合、計画の認定を行うとともに、実現のために関係機関が支援を行っていく制度。（認定期間5年）

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

目標年度までの認定農業者数については、目標に対して実績が100%となりました。新規就農支援や、担い手への農地集積などの農業振興施策を展開しました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

認定農業者のフォローアップに努め、経営内容の改善に向けて支援していく必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降についても、引き続き新規就農支援と併せて、経営感覚に優れた地域の中心となる担い手の育成支援を行っていくこととします。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	農地整備課	係	国営事業係
担当者		中川英彰	直通	0771-25-5037	内線	3172

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	1	解決策	2	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	33
②事業名	国営緊急農地再編整備事業「亀岡中部地区」									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

桂川右岸地域の未整備田を対象に国営緊急農地再編整備事業の導入により、土地基盤整備を広域的に取り組み、生産性の向上と農業経営の合理化や、担い手への農地の利用集積を促進し、耕作放棄地の解消・発生防止による優良農地の確保を図り、亀岡農業の再生に取り組みます。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	地域整備方向検討調査	事業範囲の概定 整備構想図の作成	20,000,000円 (国直轄事業)
平成24年度	地区調査 (調査区域：6地域)	事業計画案の策定 仮同意の徴集	69,000,000円 (国直轄事業)
平成25年度	地区調査 (調査区域：6地域) 土地改良法手続き	事業計画案の策定 土地改良法手続きの実施 施行申請同意(本同意)の徴集	103,000,000円 (国直轄事業)
平成26年度	事業着手 換地作業 実施設計	事業着手(事業計画確定) 換地作業 実施設計	220,000,000円 (国直轄事業)
平成27年度	実施設計 換地作業 面整備 12ha (亀岡市全体整備率：56.9%)	実施設計 換地作業 面整備 0ha (亀岡市全体整備率：56.4%)	800,000,000円 (国直轄事業)

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

(その根拠)

25年度地区調査完了により50%の達成率とし、26年度以降は事業費ベースでの進捗率としています。
(国営緊急農地再編整備事業「亀岡中部地区」 総事業費 150億円)

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

事業着手に向けた地区調査が完了し、土地改良法手続きを行い事業計画の確定ができた。また、各工区の実施工程に基づき、地元換地委員において換地選定作業、実施設計を進めてきました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

平成27年度に本梅工区、佐伯工区の工事着手の予定でしたが、換地選定における地元調整に時間を要しているため、早期に調整を行い、換地計画原案の同意徴集後、工事着手をしていく必要があります。

- 換地選定に向けた調整事項の整理
- 換地計画原案同意の徴集
- 早期の工事着手

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降については、換地計画原案の同意徴集を行い、早期に工事着手ができるよう、国、府、市が一体となり、地元役員と調整を図っていきます。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	農林振興課	係	林務係
担当者		和田 拓也	直通	25-5094	内線	3157

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	2	解決策	具体的施策	枝番号	
	「目指す目標」に該当する事業						番号	34
②事業名	森林整備事業（林道・作業道延長）							
③継続・新規	平成27年度実施事業							

④事業の概要及び目的

効率的な森林整備を推進するための路網密度の水準及び作業システム並びに作業路網等整備にあわせて、効率的な森林施業と森林管理・経営基盤となる森林路網の整備を推進します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> 作業道の開設5 k m（H21～H27） ※H23～H27開設3.6km 作業道の改良経費の補助 	作業道3路線の開設 800m	4,800,000円（事業費） 2,400,000円（補助金）
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> 作業道の開設5 k m（H21～H27） 作業道の改良経費の補助 	作業道3路線の開設 1,120m	5,400,000円（事業費） 2,700,000円（補助金）
平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> 作業道の開設5 k m（H21～H27） 作業道の改良経費の補助 	作業道3路線の開設 1,030m	5,400,000円（事業費） 2,700,000円（補助金）
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> 作業道の開設5 k m（H21～H27） 作業道の改良経費の補助 	作業道3路線の開設 900m	5,400,000円（事業費） 2,700,000円（補助金）
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> 作業道の開設5 k m（H21～H27） 作業道の改良経費の補助 	作業道3路線の開設 1026m	5,400,000円（事業費） 2,700,000円（補助金）

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

林道・作業道の延長を平成21年度125 k mから130 k m～5 k mの延長を目標にしています。平成21年度は800m、平成22年度は600mの延長を行っていますので、平成23年度から平成27年度は3,600mの延長を行います。平成27年度までで4876mの延長を行いましたので、進捗率は125%とします。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

当初目標にしていた、林道・作業道の延長について、当初目標としていた延長数を達成し100%以上となっています。

また、効率的な森林整備を推進するための路網密度の水準及び作業システム並びに作業路網等整備にあわせて、効率的な森林施業と森林管理・経営基盤となる森林路網の整備を推進することができました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

当初目標を達成することはできましたが、依然整備ができていない林道・作業道があります。そのため、今後さらなる効率的な作業システム並びに作業路網等整備をし、林道・作業道の延長をすることで、森林施業と森林管理・経営基盤となる森林路網の整備を推進していく必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

林道・作業道のさらに効率的に延長するため、路網密度の水準及び作業システム並びに作業路網等整備にあわせて、効率的な森林施業と森林管理・経営基盤となる森林路網の整備を推進していきます。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	ものづくり産業課	係	商工振興係
担当者		林田和也	直通	0771-25-5033	内線	3113

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	3	解決策	1	具体的施策	3	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	35.36
②事業名	地域商業活性化事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

地域の経済団体である商工会議所や青年部等の事業を支援し、後継者の育成や経営相談の実施による経営改善に努めるとともに商業エリアの創出や空き店舗、支援制度等の情報の提供することにより卸売業・小売業の年間商品販売額1,200億円、従業員数6,000人を目指します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> 商工会議所への活動補助 青年部、婦人会育成事業 店舗経営戦略相談事業 	<ul style="list-style-type: none"> 経営指導、商店街活性化事業補助 セミナー等開催6回 店舗経営相談5店舗 	<ul style="list-style-type: none"> 7,000,000円 462,000円 140,385円
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> 商工会議所への活動補助 青年部、婦人会育成事業 店舗経営戦略相談事業 	<ul style="list-style-type: none"> 経営指導、商店街活性化事業補助 セミナー等開催6回 店舗経営相談5店舗 	<ul style="list-style-type: none"> 7,000,000円 462,000円 140,700円
平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> 商工会議所への活動補助 青年部、婦人会育成事業 店舗経営戦略相談事業 	<ul style="list-style-type: none"> 経営指導、商店街活性化事業補助 セミナー等開催6回 店舗経営相談5店舗 	<ul style="list-style-type: none"> 7,000,000円 462,000円 150,000円
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> 商工会議所への活動補助 青年部、婦人会育成事業 店舗経営戦略相談事業 	<ul style="list-style-type: none"> 経営指導、商店街活性化事業補助 セミナー等開催7回 職業体験事業実施 店舗経営相談4店舗 	<ul style="list-style-type: none"> 7,000,000円 462,000円 118,368円
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> 商工会議所への活動補助 青年部、婦人会育成事業 店舗経営戦略相談事業 	<ul style="list-style-type: none"> 経営指導、商店街活性化事業補助 セミナー等開催7回 職業体験事業実施 店舗経営相談2店舗 	<ul style="list-style-type: none"> 11,000,000円 462,000円 59,616円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

各年度に実施する事業を行いました。
 なお、卸売業・小売業の年間商品販売額について、平成26年度の時点で、廃業の増加等をカバーできず、841億円となっていることから、進捗率を80%としています。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

地域の商工業者に対して、経営指導、活性化事業を行う亀岡商工会議所に助成することで、後継者の育成や経営相談の実施による経営改善に一定の成果がありました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

高齢化による廃業・人口減による卸売業・小売業の年間商品販売額の減少が深刻であり、効果的な支援方法について検討を行う必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

引き続き亀岡商工会議所に事業支援を実施し、目標を卸売業・小売業の年間商品販売額1,000億円・従業員数6,000人と現状に沿った目標に変更し、地域経済活性化事業に取り組んでいきます。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	ものづくり産業課	係	ものづくり支援係
担当者		上園 千佳	直通	25-5033	内線	3112

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	4	解決策	1	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	37.38
②事業名	立地奨励金等助成事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

企業立地に対する優遇措置の要件緩和や制度の充実など新たな施策の検討を進め、多様な企業の立地を促す条件の充実を図るとともに、企業立地を促進するため、企業立地奨励金、雇用促進奨励金、商工業公共下水道助成金を交付しています。また、ものづくり産業雇用支援助成金制度により、市民の雇用を回り企業活動を支援するとともに、中小企業への支援策として、平成27年度より、ものづくり産業経営安定化支援助成金制度を創設しました。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> 企業立地奨励金の指定工場等の認定要件の緩和 指定企業1箇所（累計28箇所） 	<ul style="list-style-type: none"> 企業立地奨励金8件・雇用促進奨励金4件・下水道助成2件・ふるさと雇用助成金50件・指定工場等の要件を緩和・指定企業1箇所（累計28箇所） 	<ul style="list-style-type: none"> 33,261,100円 2,300,000円 9,138,000円 14,960,000円
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> 企業立地奨励金 雇用促進奨励金 ふるさと雇用緊急支援助成金 指定企業1箇所（累計29箇所） 	<ul style="list-style-type: none"> 企業立地奨励金7件・雇用促進奨励金3件・下水道助成2件・ふるさと雇用助成金25件・指定企業2箇所（累計30箇所） 	<ul style="list-style-type: none"> 38,533,100円 2,400,000円 8,982,000円 7,000,000円
平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> 企業立地奨励金 雇用促進奨励金 下水道助成金 雇用支援助成金 	<ul style="list-style-type: none"> 企業立地奨励金6件・雇用促進奨励金3件・下水道助成2件・雇用助成金27件・指定企業2箇所（累計32箇所） 	<ul style="list-style-type: none"> 36,189,100円 1,900,000円 9,102,000円 7,110,000円
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> 企業立地奨励金 雇用促進奨励金 下水道助成金 ものづくり産業雇用支援助成金 	<ul style="list-style-type: none"> 企業立地奨励金6件・雇用促進奨励金1件・下水道助成2件・雇用助成金22件 	<ul style="list-style-type: none"> 35,131,300円 100,000円 9,026,000円 6,440,000円
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> 企業立地奨励金 雇用促進奨励金 下水道助成金 ものづくり産業雇用支援助成金 ものづくり産業経営安定化支援助成金 	<ul style="list-style-type: none"> 企業立地奨励金5件・雇用促進奨励金1件・下水道助成1件・雇用助成金34件 	<ul style="list-style-type: none"> 33,193,300円 900,000円 8,000,000円 13,060,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

各年度に実施する事業を行いました。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

企業立地奨励金、雇用促進奨励金、商工業公共下水道助成金を交付を行い、今日まで効果的な企業支援が実施できました。また、ものづくり産業雇用支援助成金制度による企業活動の支援の結果、市民の雇用も図ることができました。なお、中小企業への支援策として、平成27年度より、ものづくり産業経営安定化支援助成金制度を創設し、企業訪問等による当該制度の周知を図りました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

当該助成金制度について、その周知を更に図ることが必要とされていることから、その利活用を効果的に推し進めるための観点からも、更に積極的な周知等に対する取組みが必要とされています。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

企業訪問や関係機関との連携に努め、制度周知のための取組み等を図る中で、当該助成制度の更なる活用を推し進め、積極的な企業支援を促進していきます。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	産業観光部	課	観光戦略課	係	観光企画係
担当者		橋本広明	直通	0771-25-5034	内線	3133

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	6	節	5	解決策	2	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	39, 40
②事業名	情報発信事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

多様なメディアの活用により、観光キャンペーン及び観光PRを実施し、観光客の誘致を図ります。

【目標】 【平成27年度】

- ・観光入込客数：平成21年度の5%増 → 2,303,700人
- ・観光消費額は平成21年度の10%増 → 62.59億円

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> ・観光PRイベント、観光映像プロジェクトの実施、るるぶ亀岡の発行 ・入込客数目標2,215,940人 ・観光消費額58.04億円 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光キャンペーン、観光PR交通広告、観光映像の実施、るるぶ亀岡製作30万部 ・入込客実績2,146,945人 ・観光消費額57.96億円 	(観光推進経費) 12,618,171円
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ・観光PRイベント、観光映像プロジェクト、観光PR交通広告の実施 ・入込客数目標2,237,880人 ・観光消費額59.18億円 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光キャンペーン、観光PR交通広告、観光映像の実施、るるぶ亀岡配布等 ・入込客実績2,221,274人 ・観光消費額56.97億円 	(観光推進経費) 9,927,456円
平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> ・観光PRイベント、観光PR交通広告の実施 ・入込客数目標2,259,820人 ・観光消費額60.31億円 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光キャンペーン、観光PR交通広告、観光映像の実施、第2弾るるぶ亀岡製作30万部 ・入込客実績2,268,619人 ・観光消費額55.45億円 	(観光推進経費) 20,723,000円
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> ・観光PRイベント、観光PR交通広告の実施 ・入込客数目標2,281,760人 ・観光消費額61.45億円 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光キャンペーン、観光PR交通広告、観光映像の実施、第2弾るるぶ亀岡配布等 ・入込客実績2,408,467人 ・観光消費額63.00億円 	(観光推進経費) 10,879,536円
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> ・観光PRイベント、観光PR交通広告の実施 ・入込客数目標2,303,700人 ・観光消費額62.59億円 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光キャンペーン、観光PR交通広告、観光映像の実施、第3弾るるぶ亀岡製作30万部 ・入込客実績2,679,348人 ・観光消費額73.04億円 	(観光推進経費) 21,836,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

(その根拠)

平成21年度入込客数実績2,194,000人に対し、平成23年度から平成27年度まで毎年1%増を目標数値とし、5か年の入込客数累計目標数値を11,299,100人とします。平成23年度～平成27年度実績は11,724,653人であったため、進捗度103.8%となります。また、平成21年度消費額実績56.9億円に対して、平成23年度から平成27年度まで毎年2%増を目標数値とし、5か年の消費額累計目標数値を301.57億円とします。平成23年度～平成27年度実績は、306.42億円であったため進捗度101.6%となります。入込客数進捗度と消費額進捗度を平均して、全体進捗度102.7%となります。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

三大観光とともに、本市の特色ある歴史・伝統文化を生かし「明智光秀のまち亀岡」「広域観光圏の強化」「京都縦貫道の開通」を主なキーワードとして、観光協会や商工会議所、市民団体や近隣市町等と連携・協力（協働）により様々な観光PRを実施してきました。

京都縦貫自動車道全線開通により、宇治市・長岡京市等と連携した強化キャンペーンや中部地区・中国地方からの誘客増加を狙った名神高速道路草津PAやJR岡山駅等におけるキャンペーンを実施しました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

「るるぶ亀岡」「多言語版るるぶ亀岡」「るるぶ亀岡アプリ」「明智かめまるFB」など様々な媒体を使い、観光協会や商工会議所等と連携し誘客増加を狙った観光PRを実施しています。これに加えて、各観光地等による積極的な営業活動等により、本市の観光入込客数は年々増加しているところです。

今後は、これら観光PR媒体の効果を図ることができる仕組みを検討し、さらに効果的な亀岡PRにつなげていきたいと考えています。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

今後も、三大観光をはじめ、「明智光秀のまち亀岡」「広域観光圏の強化」「京都縦貫道の開通」を主なキーワードとして、観光協会や商工会議所、市民団体や近隣市町等と連携・協力（協働）により様々な観光PRを実施するとともに、「森の京都」「京都丹波」「NHK大河ドラマ」「大丹波」など、広域連携をさらに推進してまいります。

また、これらに合わせて「るるぶ亀岡アプリ」や「明智かめまるFB」を積極的かつ効果的に活用することにより、より広域で効果的な亀岡の観光PRに務めてまいります。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	土木建築部	課	桂川・道路整備課	係	整備係
担当者		中西 孝臣	直通	25-5074	内線	3414

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	1	解決策	3	具体的施策	3	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	41
②事業名	街路事業の計画的な取組									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

京都縦貫道へのアクセス強化及び都市の骨格を形成する基幹的な都市計画街路として整備を進めており、未改良区間の整備を行うことで、都市計画街路網の形成が図れ、円滑な交通処理及び歩行者の通行の安全を確保します。

※()内数値は期間内の事業延長を示す。

- ・街路事業中矢田篠線(上矢田工区) 事業期間：平成19年度～平成26年度 事業延長L= 220m(220m) 幅員12.00m
- ・街路事業馬堀停車場篠線(第1工区) 事業期間：平成10年度～平成23年度 事業延長L= 320m(320m) 幅員20.00m
- ・街路事業馬堀停車場篠線(第2工区) 事業期間：平成23年度～平成31年度 事業延長L= 422m(70m) 幅員20.00m
他11路線

総事業延長L=18,290m(9,167m)

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費(円単位)
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> ・業務委託 ・用地買収 ・建物等補償 ・築造工事 (整備延長L=9,024m、整備率49.3%)	<ul style="list-style-type: none"> ・業務委託 ・用地買収 ・建物等補償 ・築造工事 (整備延長L=9,023m、整備率49.3%)	用地買収等に関する 経費及び工事費 186,812,000円
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ・業務委託 ・用地買収 ・建物等補償 ・築造工事 (整備延長L=49m、整備率49.6%)	<ul style="list-style-type: none"> ・業務委託 ・用地買収 ・建物等補償 ・築造工事 (整備延長L=48m、整備率49.6%)	用地買収等に関する 経費及び工事費 91,023,000円
平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> ・業務委託 ・用地買収 ・建物等補償 ・築造工事 (整備延長L=23m、整備率49.7%)	<ul style="list-style-type: none"> ・業務委託 ・築造工事 (整備延長L=23m、整備率49.7%)	用地買収等に関する 経費及び工事費 48,416,000円
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> ・業務委託 ・用地買収 ・建物等補償 ・築造工事 (整備延長L=29m、整備率49.9%)	<ul style="list-style-type: none"> ・業務委託 ・築造工事 (整備延長L=24m、整備率49.9%)	用地買収等に関する 経費及び工事費 61,052,000円
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> ・業務委託 ・用地買収 ・建物等補償 ・築造工事 (整備延長L=43m、整備率50.0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・業務委託 ・築造工事 (整備延長L=49m、整備率50.0%)	用地買収等に関する 経費及び工事費 127,867,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

(その根拠)

期間内の事業費/総事業費の割合から期間内の事業延長を算定し、期間内の各年度事業費/期間内の事業費の割合から期間内の各年度事業延長(整備延長)を算定した。

また、上記で求めた期間内の各年度事業延長(平成23年度は過年度実績延長含む)+平成21年度目標設定時の実績事業延長(L=8,507m)/全13路線の総事業延長(L=18,290m)の割合から整備率を算定した。

進捗率 9,167m(整備延長)÷9,168m(期間内総事業延長)=99.9%

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

前期基本計画期間内において、街路事業中矢田篠線（森工区）、街路事業中矢田篠線（上矢田工区）、街路事業馬堀停車場篠線（第1工区）の3路線について築造工事を完了し供用開始しました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

区画整理事業と連携した計画的な事業進捗が課題となっています。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降については、引き続き対象路線の整備を進め、区画整理等の事業と連携を深めながら、早期に事業完了ができるよう業務に取り組むこととします。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	まちづくり推進部	課	政策交通課	係	政策交通係
担当者		辻村 維	直通	0771-25-5083	内線	3352

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	2	解決策	2	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	42
②事業名	コミュニティバス運行事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

本市公共交通の核となるJR亀岡駅を起点として、市街地内で路線バスの運行がない地域の交通を確保するとともに、公共施設・医療施設・商業施設等をネットワークで結び、公共交通の利用促進や利便性向上を図ります。

また、東部地区の交通空白地解消を図るため篠地区においてコミュニティバスの試験運行を実施します。運賃は100円均一。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	コミュニティバス運行管理 運行ダイヤ、運行経路編成等 目標利用者数92,000人	平成23年度実績95,631人 JR等と連携したダイヤ編成 統一路線番号の設定	(主に委託料) 14,541,522円
平成24年度	コミュニティバス運行管理 運行ダイヤ、運行経路編成等 目標利用者数93,000人	平成24年度実績99,881人 JR等と連携したダイヤ編成	(主に委託料) 13,662,701円
平成25年度	コミュニティバス運行管理 運行ダイヤ、運行経路編成等 目標利用者数94,000人	平成25年度実績98,302人 JR等と連携したダイヤ編成	(主に委託料) 13,376,719円
平成26年度	コミュニティバス運行管理 運行ダイヤ、運行経路編成等 新規路線検討 目標利用者数95,000人	平成26年度実績100,766人 JR等と連携したダイヤ編成	(主に委託料) 14,448,524円
平成27年度	コミュニティバス運行管理 運行ダイヤ、運行経路編成等 新規路線検討、実験 目標利用者数99,000人	平成27年度実績102,639人 JR等と連携したダイヤ編成 バス停増設2カ所 新路線試験運行実施（篠地区）	(主に委託料) 22,644,649円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

(その根拠)

JR等と連携したダイヤ編成などにより、コミュニティバス利用者への利便性向上を図りました。平成23年度から平成27年度（5ヶ年）での目標利用者数である延べ473,000人に対して、平成27年度末での利用者数が延べ497,219人となりましたので、目標年度に対して100%の達成率とします。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

目標であった利用者数については、目標に対して実績が100%となり、JR等と連携したダイヤ編成やバス停の増設などにより、コミュニティバス利用者への利便性向上に向けた取り組みを推進しました。

また、東部地区の交通空白地解消を図るため篠地区においてコミュニティバスの試験運行を実施しました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

コミュニティバスの利便性向上や市民への啓発など、利用者の増加を図るための取り組みを推進する必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

公共交通による利便性を高めるため、市街地内の路線バスが運行していない地域に交通手段を確保するとともに、買い物や通院、公共施設へのアクセスの強化を図ります。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	まちづくり推進部	課	政策交通課	係	政策交通係
担当者		辻村 維	直通	0771-25-5083	内線	3352

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	2	解決策	2	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	43
②事業名	ふるさとバス運行事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

民間バス事業者の破綻による廃止路線の代替措置として、市内周辺地域における生活路線を維持確保するために運行しています。5路線13系統（川東・別院・畑野・畑野千代川・並河駅コース）。運賃は区間により100円若しくは200円。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	ふるさとバス運行管理 運行ダイヤ、運行経路編成等 目標利用者数116,000人	平成23年度実績134,064人 JR等と連携したダイヤ編成 統一路線番号の設定、バス停 増設1カ所、経路一部見直し	75,122,697円
平成24年度	ふるさとバス運行管理 運行ダイヤ、運行経路編成等 目標利用者数119,000人	平成24年度実績135,013人 JR等と連携したダイヤ編成 バス停増設1カ所、早朝運行一 部見直し	71,425,440円
平成25年度	ふるさとバス運行管理 運行ダイヤ、運行経路編成等 目標利用者数122,000人	平成25年度実績137,540人 JR等と連携したダイヤ編成 ノンステップ車両1台導入	73,633,844円
平成26年度	ふるさとバス運行管理 運行ダイヤ、運行経路編成等 目標利用者数125,000人	平成26年度実績145,611人 JR等と連携したダイヤ編成 バス停増設3カ所、経路一部見 直し、夕方便一部見直し	81,164,181円
平成27年度	ふるさとバス運行管理 運行ダイヤ、運行経路編成等 目標利用者数138,000人	平成27年度実績139,800人 JR等と連携したダイヤ編成	80,043,611円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

JR等と連携したダイヤ編成などにより、ふるさとバス利用者への利便性向上を図りました。平成23年度から平成27年度（5ヶ年）での目標利用者数である延べ620,000人に対して、平成27年度末での利用者数が延べ692,028人となりましたので、目標年度に対して100%の達成率とします。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

目標であった利用者数については、目標に対して実績が100%となり、JR等と連携したダイヤ編成やバス停の増設などにより、ふるさとバス利用者への利便性向上に向けた取り組みを推進しました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

ふるさとバスの利便性向上や市民への啓発など、利用者の増加を図るための取り組みを推進する必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

周辺地域の生活交通の確保を目的に、市民が利用しやすく、また利用してもらえるよう、バスサービスの向上を推進します。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	土木建築部	課	桂川・道路整備課	係	整備係
担当者		中西 孝臣	直通	25-5074	内線	3414

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	3	解決策	2	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	44
②事業名	民間開発等との連携									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

現在未改修の準用河川牧田川を民間開発（区画整理事業）との連携により整備促進し、市民の生命・財産を水害や土砂災害から守るため河川整備を進めます。

- 準用河川牧田川 事業期間：平成20年度～平成25年度 事業延長L= 500m(394m) 幅員4.70m
他9河川

※()内数値は期間内の事業延長を示す。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・用地買収 ・改修工事 (整備延長L=140m、整備率83%)	・用地買収 ・改修工事 (整備延長L=11,956m、整備率82.9%)	用地買収等に関する 経費及び工事費 146,627,000円
平成24年度	・用地買収 ・改修工事 (整備延長L=87m、整備率84%)	・用地買収 ・改修工事 (整備延長L=178m、整備率84.1%)	用地買収等に関する 経費及び工事費 112,448,810円
平成25年度	・用地買収 ・改修工事 (整備延長L=136m、整備率85%)	・用地買収 ・改修工事 (整備延長L=47m、整備率84.5%)	用地買収等に関する 経費及び工事費 29,800,000円
平成26年度	・用地買収 ・改修工事 (整備延長L= m、整備率 %)	・用地買収 ・改修工事 (整備延長L=42m、整備率84.8%)	用地買収等に関する 経費及び工事費 26,150,000円
平成27年度	・用地買収 ・改修工事 (整備延長L= m、整備率 %)		

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

(その根拠)

期間内の事業費／総事業費の割合から期間内の事業延長を算定し、期間内の各年度事業費／期間内の事業費の割合から期間内の各年度事業延長（整備延長）を算定した。
また、上記で求めた期間内の各年度事業延長（平成23年度は過年度実績延長含む）＋平成21年度目標設定時の実績事業延長（L=11,745m）／全10河川の総事業延長（L=14,420m）の割合から整備率を算定した。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

前期基本計画期間内において、準用河川牧田川（第1期事業区間）の河川改修工事を完了しました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

治水・利水及び河川環境に配慮した河川構造を検討するにあたり、地元自治会及び農業水利関係者並びにNPO団体等との協議に時間を要すること、及び補助メニューの検討など財源確保が課題である。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降については、準用河川牧田川（第2期）の整備に着手し、地元関係者と環境に配慮した計画についての協議を行いながら事業を進めることとします。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	土木建築部	課	桂川・道路整備課	係	広域事業係
担当者		湯浅 邦啓	直通	25-5070	内線	3412

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	3	解決策	3	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	45
②事業名	桂川堤防・護岸高水敷の活用									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

○桂川堤防・護岸高水敷の活用
「保津川かわまちづくり計画」に基づき、川を活かしたまちづくり・まちを活かした川づくりを推進します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	○土地利用構想の策定 保津川かわまちづくり推進協議会開催・ワーキンググループ（5グループ）会議の開催・グループ長会議開催・保津川「花回廊」の整備（桜植樹）右岸L=約200m、27本・年谷川千本松「野橋立」の復元（松植樹）左岸L=約160m、22本	○土地利用構想の策定 保津川かわまちづくり推進協議会を1回開催・WG（5グループ）会議を11回開催・グループ長会議を1回開催・保津川「花回廊」の整備（桜植樹）右岸L=約200m、27本・年谷川千本松「野橋立」の復元（松植樹）左岸L=約160m、22本	桂川高水敷土地利用 事業経費 7,578,180円
平成24年度	○土地利用構想の策定 保津川かわまちづくり推進協議会開催・ワーキンググループ（5グループ）会議の開催・グループ長会議開催・保津川「花回廊」の整備（堤防園路整備）左岸L=約600m・年谷川千本松「野橋立」の復元（松植樹、堤防腹付整備）右岸L=約430m、約60本	○土地利用構想の策定 保津川かわまちづくり推進協議会を1回開催・WG（5グループ）会議を14回開催・グループ長会議を2回開催・保津川「花回廊」の整備（堤防園路整備）左岸L=約600m・年谷川千本松「野橋立」の復元（松植樹、堤防腹付整備）右岸L=約430m、58本	桂川高水敷土地利用 事業経費 9,146,910円
平成25年度	・保津川「花回廊」の整備（桜植樹、堤防腹付整備等）右岸L=約450m、約60本・年谷川千本松「野橋立」の復元（松植樹）左岸L=約210m、約30本・整備手法の検討（概算事業費の算定、年次計画の策定等）・包括占用の協議、調整・管理運営主体の協議、調整	○土地利用構想の策定・承認 保津川かわまちづくり推進協議会を1回開催・WG会議を4回開催・保津川「花回廊」の整備 桜植樹L=約300m 40本・年谷川千本松「野橋立」の復元 松植樹L=約135m 18本・保津川さくら広場整備	桂川高水敷土地利用 事業経費 7,832,880円
平成26年度	・保津川左岸高水敷の整備に係る都市再生整備計画の策定（5ヶ年計画） ・年谷川右岸園路整備600m ・保津川「花回廊」の整備（桜植樹約13本） ・土地利用計画に基づく整備（ゾーニング毎整備）	○保津川左岸高水敷の整備に係る都市再生整備計画の策定（～平成29年度）・保津川かわまちづくり推進協議会を1回開催・保津川かわまちづくりに係る地元まちづくり団体との協議4回・保津川「花回廊」の整備桜植樹（L=約78m 13本）・年谷川右岸園路にベンチ設置（6基）	桂川高水敷土地利用 事業経費 4,857,740円
平成27年度	・保津川左岸高水敷を保津川かわまちづくり全体計画図に基づき整備（都市再生整備計画事業として） ・年谷川・保津川右岸園路整備800m	○都市再生整備計画に基づき左岸高水敷に多目的広場を整備・平成・保津川かわまちづくり推進協議会を1回開催・水端かわまちワーキンググループを2回開催・桂川右岸園路にベンチ設置（8基）	桂川高水敷土地利用経費 高水敷公園整備事業費 95,801,828円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

○平成27年度までを全体とし、各年度を均等に進捗度を設定した。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

- 保津川かわまちづくり計画の推進組織として、平成23年9月に保津川かわまちづくり推進協議会を発足させた。
- 保津川かわまちづくり計画に基づき、亀岡市・京都府・篠町自治会の協働による地域主導型公共事業において、桂川右岸を「保津川花回廊」・年谷川堤防を「千本松 野橋立」として整備を実施した。
- 平成26年度に「都市再生整備計画」を策定し、保津川左岸高水敷の整備を事業着手。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

- 整備後の管理方法について、大きな財政的負担が掛からない方法を検討していく必要がある。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

- 都市再生整備計画による保津川左岸高水敷の整備については、平成29年度完成を目標に事業を進める。
- 保津川かわまちづくり推進協議会において、課題である維持管理の方法、又、桂川右岸高水敷整備手法等について検討を進める。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	上下水道部	課	水道課	係	計画係
担当者		西田隆	直通	0771-25-6707	内線	3653

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	4	解決策	1	具体的施策	4	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	46
②事業名	水道未普及地域の解消(畑野町水道未普及地域解消事業)									
③継続・新規	平成23年度以前からの継続事業									

④事業の概要及び目的

水道未普及地域において、安全で安定した飲料水を供給することにより、快適な日常生活の基盤確保と住民福祉の向上を図るものです。亀岡市には、畑野町、西別院町、東別院町他で公営水道が整備できていない水道未普及地域があります。畑野町につきましては平成21年度から水道未普及地域解消事業に着手し上水道による区域の拡張を行い平成25年度未完了を目指します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費(円単位)
平成23年度	・畑野町水道未普及地域解消事業実施 (公営水道普及率市全体 95%) (公営水道普及率畑野町 0%)	・畑野町水道未普及地域解消事業実施	・畑野町水道未普及地域解消事業費 1,137,732,651円
平成24年度	・畑野町水道未普及地域解消事業実施(給水開始約440戸) (公営水道普及率市全体 96%) (公営水道普及率畑野町 40%)	・畑野町水道未普及地域解消事業実施(給水開始約440戸) (公営水道普及率市全体 96%) (公営水道普及率畑野町 42%)	・畑野町水道未普及地域解消事業費 742,719,000円
平成25年度	・畑野町水道未普及地域解消事業完了(給水戸数約950戸) (公営水道普及率市全体 98%) (公営水道普及率畑野町 83%)	・畑野町水道未普及地域解消事業完了(給水戸数約956戸) (公営水道普及率市全体 98%) (公営水道普及率畑野町 95%)	・畑野町水道未普及地域解消事業費 115,694,100円 H24から繰越 73,143,400円
平成26年度	(公営水道普及率市全体 98%) (公営水道普及率畑野町 100%)	(公営水道普及率市全体 98%) (公営水道普及率畑野町 100%)	0円
平成27年度			

※⑤の平成25～27年度の「当初目標」欄に記載された事項は、現時点での目標であり、実施が確約されたものではありません。

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成26年度

(その根拠)

・畑野町においては平成21年度から水道未普及地域解消事業に取り組み、平成25年度末で事業を完了しました。平成26年度には畑野町全域に給水を開始しており、畑野町水道未普及解消事業の進捗率は100%となります。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

平成25年度末で事業を完了し、平成26年度には畑野町全域に給水を開始しており、畑野町水道未普及解消事業は100%完了しました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

平成25年度末で完了しているため、該当しません。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成25年度末で完了しているため、該当しません。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	上下水道部	課	下水道課	係	普及係
担当者		森敏郎	直通	0771-25-6706	内線	3673

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	5	解決策	2	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	47
②事業名	下水道水洗化促進事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

公共下水道及び地域下水道整備区域内の水洗化を促進することにより、区域内の生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を図ります。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	下水道水洗化率(78.2%)	公共水洗化率(89.8%) 地域水洗化率(64.5%) 下水道水洗化率(79.7%)	普及促進費・農業集落排水施設管理費 989,324円
平成24年度	下水道水洗化率(79.8%)	公共水洗化率(91.5%) 地域水洗化率(72.2%) 下水道水洗化率(83.6%)	普及促進費・農業集落排水施設管理費 611,004円
平成25年度	下水道水洗化率(81.2%)	公共水洗化率(92.6%) 地域水洗化率(76.3%) 下水道水洗化率(84.6%)	普及促進費・農業集落排水施設管理費 685,761円
平成26年度	下水道水洗化率(82.5%)	公共水洗化率(93.1%) 地域水洗化率(77.5%) 下水道水洗化率(85.6%)	普及促進費・農業集落排水施設管理費 605,350円
平成27年度	下水道水洗化率(83.8%)	公共水洗化率(93.7%) 地域水洗化率(79.8%) 下水道水洗化率(86.6%)	普及促進費・農業集落排水施設管理費 550,416円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

(その根拠)

平成27年度に下水道水洗化率を83.8%とする目標に対し、平成27年実績は86.6%で目標達成のため100%とします。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

未水洗家屋の所有者に対しては、ハガキによる促進や戸別訪問を実施し、下水道フェスティバルや広報誌等で水洗化の啓蒙、啓発を行い、目標値を達成した。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

検討が必要。

戸別訪問時に未水洗理由の聞き取り調査を行っているので、調査結果を基に今後の水洗化促進の方向性の検討を行う。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

公共下水道及び地域下水道ともに水洗化率を上げるため、水洗化促進事業を今後も進めていき、公共下水道及び地域下水道区域内の水洗化を促進することにより、区域内の生活環境の改善、公共用水域の水質の保全を図るとともに、下水道料金の収入増加による下水道事業会計の健全経営に努めます。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	土木建築部	課	建築住宅課	係	住宅係
担当者		藤田 浩平	直通	25-5048	内線	3452

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	6	解決策	1	具体的施策	5	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	48
②事業名	安全なわが家の耐震化促進事業 (木造住宅の耐震化工事の促進)									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

地震に強い安全・安心のまちづくりを推進するため、平成20年3月に策定した「亀岡市建築物耐震改修促進計画」に基づき、平成27年度末までに耐震化率を現状（平成15年）の72.5%から90%までに引き上げる目標を掲げています。

耐震性能を有していない木造住宅の所有者が、高額な費用がかかると思われる耐震改修までなかなか踏み切れない状況を踏まえ、耐震診断士の派遣や耐震改修事業費補助金などにより、木造住宅の耐震化率向上に努め、安全・安心のまちづくりを推進します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	木造住宅耐震診断士派遣事業:20戸・木造住宅耐震改修補助金事業:5戸・啓発事業	木造住宅耐震診断士派遣事業:30戸・木造住宅耐震改修補助金事業:6戸・啓発事業	安全なわが家の耐震化促進事業費 8,180,000円
平成24年度	木造住宅耐震診断士派遣事業:30戸・木造住宅耐震改修補助金事業:15戸・啓発事業	木造住宅耐震診断士派遣事業:30戸・木造住宅耐震改修補助金事業:本格改修14戸、簡易改修5戸・啓発事業	安全なわが家の耐震化促進事業費 16,765,000円
平成25年度	木造住宅耐震診断士派遣事業:30戸・木造住宅耐震改修補助金事業:本格改修10戸、簡易改修15戸・啓発事業	木造住宅耐震診断士派遣事業:21戸・木造住宅耐震改修補助金事業:本格改修14戸、簡易改修9戸・啓発事業	安全なわが家の耐震化促進事業費 17,188,870円
平成26年度	木造住宅耐震診断士派遣事業:30戸・木造住宅耐震改修補助金事業:本格改修10戸、簡易改修15戸・啓発事業	木造住宅耐震診断士派遣事業:30戸・木造住宅耐震改修補助金事業:本格改修8戸、簡易改修12戸・啓発事業	安全なわが家の耐震化促進事業費 12,227,000円
平成27年度	木造住宅耐震診断士派遣事業:30戸・木造住宅耐震改修補助金事業:本格改修10戸、簡易改修15戸・啓発事業	木造住宅耐震診断士派遣事業:20戸・木造住宅耐震改修補助金事業:本格改修12戸、簡易改修14戸・啓発事業	安全なわが家の耐震化促進事業費 16,758,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

(その根拠)

平成15年の住宅・土地統計調査による推計値では、市内住宅の耐震化率は72.5%となっており、平成27年度末までに90%に引き上げるためには、17.5%の向上が必要です。

京都府下の耐震化率の推移を考慮した結果、平成27年度では83.0%と見込まれるため、60%の達成率とします。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

- ・平成23年度から平成27年度までの5年間で、計131戸の住宅に対して耐震診断士の派遣を行い、計94戸の住宅に耐震改修補助金を交付するなど、耐震化促進のための事業を着実に進めた。
- ・チラシ配布や出前授業などさまざまな手段による積極的な広報活動に努めた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

- ・京都府下の平成27年度時点の耐震化率は推計で83%であり、目標としていた90%には達していない状況である。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

- ・前期に引き続き、耐震診断士の派遣や耐震改修事業費補助金により、耐震化率の向上に努めるとともに、積極的な広報活動を行っていきたい。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	環境市民部	課	環境政策課	係	施設整備係
担当者		中村信幸	直通	25 - 5015	内線	2515

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	7	解決策	1	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	49
②事業名	新火葬場整備に関する調査									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

新火葬場整備構想の策定に向け、広く市民の意見を聞き、市民意見の交換により市民理解を得た整備構想とするため、平成27年度に亀岡市新火葬場整備検討審議会を開催し、新火葬場構想を策定する。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・他市町村火葬場の建設経過、施設規模、運営形態等調査	・平成23年6月に運用開始された泉大津市営火葬場「ゆうしお」で火葬場設備設計プロポーザル技術提案方式、施設規模、運営形態等を調査。	市 3,780
平成24年度	・他市町村火葬場の建設経過、施設規模、運営形態等調査	・前年度の調査結果の内容を踏まえて、今後の調査内容について研究した結果、ソフト面では移転を伴う火葬場建設に際しての市民意向の把握方法と新火葬場制定構想会議の設置、ハード面では火葬場の経営方法の課題について抽出した。	0
平成25年度	・他市町村火葬場の建設経過、施設規模、運営形態等（PFI導入）調査	・8月7日、守山野洲行政事務組合「野洲川斎苑」で一部行政事務組合等を調査。 ・10月30日、京丹後市火葬場で火葬場基本構想・基本計画・委員会の構成メンバー等を調査。 ・1月29日、一宮市「一宮斎場」でPFI方式による火葬場建設・運営等を調査。	市 35,920
平成26年度	・新火葬場基本方針調査業務委託 ・他市先進地視察 ・(仮称)環境施設等整備検討審議会条例の制定 ・庁内検討会議	・新火葬場整備基本方針検討業務 ・亀岡市新火葬場整備検討審議会条例の制定 ・庁内会議の開催	市 5,218,270
平成27年度	・亀岡市新火葬場整備検討審議会の開催 ・新火葬場整備構想の策定 ・庁内検討会議	・先進地視察の実施	市 16,885

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

(その根拠)

他市町村火葬場調査、新火葬場基本方針調査検討業務	(平成23年度～26年度 60%)
亀岡市新火葬場整備検討審議会条例の施行	(平成27年度 5%)

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

新火葬場の整備構想を策定するため、平成27年4月1日付で亀岡市新火葬場整備検討審議会条例を制定及び施行した。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

亀岡市新火葬場整備検討審議会を設置するため、委員の選任及び各種団体等への推薦依頼を行ったが、平成27年度内の設置には至らなかった。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

早期に審議会を設置し、市民の意見を聴きながら整備構想を策定し、市民の終焉の場となる新火葬場の建設事業を展開する。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	総務部	課	総務課	係	情報化推進係
担当者		鈴木 長	直通	0771-25-5007	内線	2318

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	7	節	8	解決策	具体的施策	枝番号
	「目指す目標」に該当する事業						番号
②事業名	ブロードバンド・ゼロ地域解消事業補助金（債務負担行為分）交付						
③継続・新規	平成27年度実施事業						

④事業の概要及び目的

本市域におけるブロードバンド（超高速・大容量インターネット通信網）環境の地域間格差是正のため、採算性等の問題により民間電気通信事業者の光ファイバーによるブロードバンドサービス等を受用できない地区に、本市が整備にかかる費用の一部を負担することにより、民間電気通信事業者において継続的なサービスが提供できる設備を整備し、光ファイバーによるブロードバンドサービスの活用による「市民生活のさらなる向上」「市民と行政との情報交流」「地域経済の活性化」「情報交流の活性化」を図る。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	ブロードバンド加入率50%	平成23年度末 加入率50.2%	6,600,000円
平成24年度	ブロードバンド加入率60%	平成24年度末 加入率52.6%	6,190,000円
平成25年度	ブロードバンド加入率70%	平成25年度末 加入率54.8%	6,010,000円
平成26年度	ブロードバンド加入率80%	平成26年度末 加入率57.1%	5,800,000円
平成27年度	ブロードバンド加入率90%	平成27年度末 加入率58.0%	5,670,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						

（その根拠）

加入率90%の目標値に対し、平成27年度末の補助対象区域内の加入率は58.0%のため、平成27年度の進捗度は64.4%とします。当該事業の実施により本市のブロードバンド・ゼロ地域は解消されており、インターネットを利用できる環境は整っています。「亀岡市情報化推進計画」の策定にあたり平成27年9月に実施した「情報化推進に関する市民アンケート」では約8割が「インターネットを利用している」と回答されており、全国調査（平成27年版情報通信白書）と同様の結果となっています。補助事業完了年度（平成31年度）に向けて加入率の増加に取り組みます。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

本ブロードバンド・ゼロ地域解消事業補助金を開始した平成22年度から微増ではあるが加入率は増加しています。当該事業の実施により本市のブロードバンド・ゼロ地域は解消されており、インターネットを利用できる環境が整ったことから、市民の約8割がインターネットを利用している状況となっています。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

市民のインターネット利用率に対して、本ブロードバンド・ゼロ地域解消事業補助金対象区域内の加入率が低い状況となっており、スマートフォンやタブレット端末等の移動系ブロードバンド契約数が年々大幅に増加していることが要因の一つと考えられます。しかしながら、携帯電話サービスが1社も提供されていない携帯電話不感地域も本市域に存在するので、加入率の増加に取り組む必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降については、引き続きブロードバンド・ゼロ地域解消事業補助金による支援を継続し、加入率の増加に取り組むこととします。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	総務部	課	総務課	係	文書管理係
担当者		竹村紀久子	直通	0771-25-5095	内線	2315

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	8	節	1	解決策	3	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	51
②事業名	情報公開の推進・市民情報コーナーの利用者数									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

市政運営の公開性を高めることにより開かれた市政の推進を図るため、市民情報コーナーを開設し、各種行政資料をさらに充実させて情報提供を行うとともに、情報公開・個人情報保護審議会を開催し、専門的見地から意見や助言を得て、行政事務の執行及び情報公開請求等に対応していきます。

また、制度を広く周知し活用していただく中で、市民と行政が情報を共有することにより市政への理解を深め、市民参加のまちづくりを推進していきます。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	市民情報コーナーの利用者数 13,000人 各種行政資料増加冊数 25冊（合計1,025冊）	市民情報コーナーの利用者数 14,126人 各種行政資料増加冊数 合計 1,025冊	2,058,508円
平成24年度	市民情報コーナーの利用者数 13,500人 各種行政資料増加冊数 25冊（合計1,050冊）	市民情報コーナーの利用者数 14,764人 各種行政資料増加冊数 合計 1,050冊	2,346,002円
平成25年度	市民情報コーナーの利用者数 14,000人 各種行政資料増加冊数 25冊（合計1,075冊）	市民情報コーナーの利用者数 14,311人 各種行政資料増加冊数 合計 1,075冊	2,124,747円
平成26年度	市民情報コーナーの利用者数 14,500人 各種行政資料増加冊数 25冊（合計1,100冊）	市民情報コーナーの利用者数 14,324人 各種行政資料増加冊数 合計 1,100冊	2,382,829円
平成27年度	市民情報コーナーの利用者数 15,000人 各種行政資料増加冊数 25冊（合計1,125冊）	市民情報コーナーの利用者数 13,678人 各種行政資料増加冊数 合計 1,125冊	2,201,960円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

目標年度までの目標市民情報コーナー利用者数が延べ70,000人に対して、平成27年度までの実績は延べ71,203人で達成率101%。目標年度までの各種行政資料増加冊数が延べ125冊に対して、平成27年度までの実績は延べ125冊で達成率100%であり、平成27年度の進捗度は、2つの目標値の平均である100%とします。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

市民情報コーナーの利用者数は毎年だいたい横ばいの数字ではありますが、目標年度までの目標市民情報コーナー利用者数が延べ70,000人に対して、平成27年度までの実績は71,203人と100%をわずかに上回り、目標達成ができました。多くの行政の持っている情報を公開することにより、透明性のある市政運営の推進が図れました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

市が保有している情報は市民に説明する義務があるため、行政情報、すなわち意思決定した情報、意思決定した情報、意思形成過程の情報、職務上取得した情報は情報公開を前提に記録、保存をしないため、今後適正な公文書作成と管理について業務に携わる職員の意識改革が必要であります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降についても引き続き事業を展開することとし、行政の持っている情報を広く公開するために公文書の適切な作成及び保存管理を一層進め、市民情報コーナーの充実を図ることとします。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	企画管理部	課	企画調整課	係	行政改革係
担当者		上西 亮	直通	0771-25-5006	内線	2113

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	8	節	1	解決策	3	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	52
②事業名	「審議会等の設置及び公開に関する指針」及び「亀岡市民の意見提出手続きに関する要綱」の運用									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

概要：審議会等への市民参画を図るため、委員の公募を進めるとともに、審議会等の情報を広く発信し、審議会等への市民傍聴を進める。またパブリックコメントの実施により、市政の情報公開と市民意見の募集と反映を図る。
目的：協働のまちづくりに向け、行政情報を市民と共有し、まちづくりの方針決定過程における市民の参画を図る。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	審議会等への市民委員の参加拡大（公募委員比率9.0%） パブリックコメント実施の推進と結果報告（年1回：公表）	審議会等への市民委員の参加拡大（公募委員比率8.3%） パブリックコメント実施の推進と結果報告（年1回：公表）	—
平成24年度	審議会等への市民委員の参加拡大（公募委員比率9.5%） パブリックコメント実施の推進と結果報告（年1回：公表）	審議会等への市民委員の参加拡大（公募委員比率7.8%） パブリックコメント実施の推進と結果報告（年1回：公表）	—
平成25年度	審議会等への市民委員の参加拡大（公募委員比率10%） パブリックコメント実施の推進と結果報告（年1回：公表）	審議会等への市民委員の参加拡大（公募委員比率9.8%） パブリックコメント実施の推進と結果報告（年1回：公表）	—
平成26年度	審議会等への市民委員の参加拡大（公募委員比率10%） パブリックコメント実施の推進と結果報告（年1回：公表）	審議会等への市民委員の参加拡大（公募委員比率9.7%） パブリックコメント実施の推進と結果報告（年1回：公表）	—
平成27年度	審議会等への市民委員の参加拡大（公募委員比率11%） パブリックコメント実施の推進と結果報告（年1回：公表）	審議会等への市民委員の参加拡大（公募委員比率9.4%） パブリックコメント実施の推進と結果報告（年1回：公表）	—

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

平成27年度における審議会の公募委員登用比率の目標を11%としており、平成27年度において9.4%となったため、85%の達成率とします。
<H27実績9.4%÷H27目標11%=85%>

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

各年度において、審議会等の設置や廃止がある中で、専門意見を聴取する目的等により、市民公募に適さない審議会等もあり、目標を達成することはできなかったが、市民委員の人数については増加している。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

審議会の公開や市民委員の参加機会の拡大を推進することが、開かれた市政として行政情報を市民と共有し、まちづくりの方針決定過程における市民意見の反映につながることに對する職員の理解と意識啓発等が課題であり、今後も市民公募の拡大に向けて継続的に取り組む。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

審議会等の設置及び公開に関する指針及び亀岡市民の意見提出手続きに関する要綱に基づき、引き続き市民意見を市政に反映するための公募委員の意義について周知を行うと共に、公募委員の登用推進を審議会委員の改選時に働きかけ、市民公募比率10%の目標を達成できるよう努める。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	企画管理部	課	財政課	係	財務係
担当者		山本 安彦	直通	25-5008	内線	2312

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	8	節	2	解決策	1	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	53
②事業名	中長期的な視点による健全な財政運営の取組み									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

健全な財政運営を図るため、中長期的な視点による取組みとして、緊急的な財政需要に耐えうる基金残高の確保をはじめ、普通会計における市債残高の縮減、各種団体等への補助金、負担金の見直し等を推進するとともに、広報紙やホームページなどによる市民へのわかりやすい財政状況の広報を行う。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	実質公債費比率 15.4%	実質公債費比率 14.1%	0円
平成24年度	実質公債費比率 15.2%	実質公債費比率 13.3%	0円
平成25年度	実質公債費比率 15.0%	実質公債費比率 12.0%	0円
平成26年度	実質公債費比率 14.8%	実質公債費比率 11.4%	0円
平成27年度	実質公債費比率 14.6%	実質公債費比率 11.3%	0円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

毎年度、予算編成とその執行管理を同様に行っているため、目標年度までの5年間を経過年数で除して得た値（5カ年／5カ年＝100%）を進捗率とした。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

「④事業の概要及び目的」の各取組みについては5年間にわたり適正な予算編成、予算執行等が図れ、平成27年度末の基金残高は一定額（36億円〔普通会計ベース〕）を確保することができ、普通交付税を補う臨時財政対策債を除く市債残高も同レベルの残高（290億円〔普通会計ベース〕）に止めることができた。また、実質公債費比率の目標については、達成することができた。

平成28年度当初予算編成においても、一定の条件を満たさないものは補助金の見直し（一律20%カット）を実施したことにより、基金残高の確保・維持につながった。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

地域経済情勢が未だ好転したとは言えず、落ち込みもしくは伸び悩んでいる状況であり、歳入の根幹をなす地方税の落ち込みがある中で、健全財政を維持することは困難であり、中長期的な視点をもって対応する必要がある。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

以上のことから、将来負担の動向にも注視しつつ、引き続き本取組を推進する。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	企画管理部	課	企画調整課	係	企画係
担当者		西田 尚平	直通	0771-25-5006	内線	2113

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	8	節	3	解決策	具体的施策	枝番号	
	「目指す目標」に該当する事業						番号	54
②事業名	広域連携の推進（観光キャンペーン実施数）							
③継続・新規	平成27年度実施事業							

④事業の概要及び目的

亀岡市、南丹市、京丹波町、南丹広域振興局と連携して観光キャンペーンを実施することにより、本地域が持つ豊かな自然や伝統ある文化など、地域資源を最大限に生かした観光振興、観光客誘致を行い、地域振興を図ります。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	大都市圏での観光キャンペーン実施数 (1回)	観光キャンペーン実施数 (2回：8月名古屋、2月東京)	0
平成24年度	大都市圏での観光キャンペーン実施数 (2回)	観光キャンペーン実施数 (3回：8月岡山、11月草津、3月東京)	0
平成25年度	大都市圏での観光キャンペーン実施数 (3回)	観光キャンペーン実施数 (4回：6月草津、10月東京、大阪、3月東京)	0
平成26年度	大都市圏での観光キャンペーン実施数 (3回)	観光キャンペーン実施数 (3回：6月草津、9月東京、3月名古屋)	0
平成27年度	大都市圏での観光キャンペーン実施数 (3回)	観光キャンペーン実施数 (2回：6月草津、2月東京)	0

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

(その根拠)

平成27年度に観光キャンペーンを年間3回実施、5年間で12回のキャンペーン実施を目標としている。平成27年度においては、年間2回の実施となったが、100%の達成率となる。(14/12)

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

亀岡市、南丹市、京丹波町、南丹広域振興局と連携して、観光キャンペーンや大都市圏旅行会社への観光プロモーション等を精力的に行うことで、「京都・丹波」ブランドを活かした地域資源の魅力の発信を行い、観光客増加につながられた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

訪日外国人観光客の増加を目指した取組の強化。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

「京都・丹波」ブランドを活かした広域連携による情報発信等の取組を継続して推進することで、「京都亀岡」の豊かな自然環境や文化、食など地域資源を最大限に生かした観光振興、観光客誘致を行っていく。